

令和 3 年度

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価に関する報告書

令和 4 年 8 月
一戸町教育委員会

はじめに

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、一戸町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について教育委員会自ら点検及び評価を行った結果を取りまとめたものです。

この報告書を議会に提出するとともに、町民へ公表することにより説明責任を果たし、町民に信頼される教育行政を推進してまいりたいと考えております。

また、点検及び評価の方法については、教育委員会三課で異なっていた報告様式の統一化を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により中止せざる得ない事業があったことから、評価基準を見直しての評価としました。

今後においても随時不備な点は改善し、結果についてはこれから施策等に反映していくこととし、継続的に事業の改善を図ってまいりたいと考えております。

※根拠

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うには当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

1. 令和3年度教育委員会の活動状況	
(1) 教育委員	1
(2) 教育委員会議の開催状況	1
(3) 教育委員会議議決案件	1
(4) 教育委員会議以外の活動状況	2
2. 教育委員会事業の点検・評価	
(1) 評価対象	3
(2) 評価方法	4
(3) 評価集計表	4
(4) 三課各事業の点検・評価	6
①学校教育課関連事業	6
(第2章)	
②生涯学習課関連事業	
○社会教育事業実施状況	22
(第1章、第3章)	
○社会体育事業実施状況	27
(第4章)	
○公民館事業実施状況	33
(第1章、第3章)	
○芸術文化・コミュニティセンター事業実施状況	49
(第6章)	
○一戸町立図書館事業実施状況	52
(第1章)	
○文化財関係事業実施状況	61
(第6章)	
③世界遺産登録推進室関連事業	63
(第5章)	
3. 令和3年度教育に関する事務の管理及び	
執行の状況の点検及び評価に関する有識者からの意見	66

1. 令和3年度教育委員会の活動状況

(1) 教育委員（令和3年4月1日現在）

役職名	氏 名	就任年月日	現任期
教育長職務代理者	春日川 寛治	平成24年12月25日	令和2年12月25日 ～令和6年12月24日
教育委員	徳永映子	平成29年12月25日	平成29年12月25日 ～令和3年12月24日
教育委員	武田靖子	平成30年4月1日	平成30年4月1日 ～令和4年3月31日
教育委員	梅垣俊輔	平成31年4月1日	平成31年4月1日 ～令和5年3月31日
教育長	中嶋敦	平成30年4月1日	令和3年4月1日 ～令和6年3月31日

(2) 教育委員会議の開催状況

月 日	議 案	報 告	月 日	議 案	報 告
4月22日	1	0	11月25日	1	0
5月26日	0	0	12月23日	0	0
6月24日	0	0	1月27日	0	0
7月27日	1	0	2月22日	0	0
8月25日	1	0	3月22日	2	0
9月28日	0	0			
10月26日	0	0			
			計	6件	0件

(3) 教育委員会議議決案件

日 付	件 名
R 3. 4.22	一戸町スポーツ推進委員の委嘱に同意を求めることについて
R 3. 7.27	一戸町立小中学校において令和4年度使用する教科書の採択に関し議決を求める ことについて
R 3. 8.25	令和2年度教育に関する事務の管理、執行の状況の点検及び評価報告書について
R 3. 11.25	一戸町文化財の指定解除に関し議決を求めることについて（越田橋のウルシ）
R 4. 3.18	令和3年度末職員の定期人事異動の内申に関し承認を求めることについて
	一戸町行政組織規則等の一部を改正する規則の制定について

(4) 教育委員会議以外の活動状況

①学校訪問等

4月 入学式 小学校、中学校、高等学校（一戸高校・三愛学舎）
7月 学校視察 小学校、中学校
3月 卒業式 小学校、中学校、高等学校（一戸高校・三愛学舎）

②総会・研修会

7月 東北町村教育長連絡協議会定期総会（書面開催）
東北六県市町村教育委員会連合会定期総会（書面開催）

③一戸町総合教育会議の開催状況及び会議案件

日付	件名
R 3. 9. 2	・令和3年度教育長施政方針の取組状況について
R 4. 2. 22	・令和3年度教育長施政方針の取組状況について ・令和4年度教育委員会予算の主たる事業について

2. 教育委員会事業の点検・評価

(1) 評価対象

第9次教育振興基本計画の施策に基づき、その状況を点検及び評価の対象としました。

○一戸町第9次教育振興基本計画施策体系

第1章 生涯学習の推進

第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備

第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成

第3節 図書館の充実

第2章 学校教育の充実

第1節 幼児教育・義務教育の充実

第2節 学校、家庭、地域の連携による「地域とともににある学校」づくりの推進

第3節 特別支援教育の充実

第4節 小中学校の教育環境の整備充実

第5節 学校給食の充実

第6節 教育に関わる経済的負担の軽減、就学援助・通学対策等の充実

第7節 教職員の資質の向上

第8節 いじめ、不登校等への対応の充実

第3章 青少年の健全育成

第1節 指導者の発掘・養成

第2節 子ども行事の活性化

第3節 健全な社会環境づくりの推進

第4章 スポーツの推進

第1節 スポーツ団体の育成および指導者の確保

第2節 スポーツ・レクリエーション実践活動の促進

第3節 スポーツ交流の促進

第4節 スポーツ施設の整備

第5章 世界遺産を活用したまちづくりの推進

第1節 世界遺産登録に向けた取組

第2節 未来に伝えていくための取組

第3節 新たな交流の創出

第6章 歴史文化の継承と創造

第1節 文化財の調査・保護

第2節 重要文化財旧朴館家住宅の保存修理とまちづくり

第3節 文化財愛護の機運向上

第4節 御所野縄文公園の活用

第5節 芸術・文化活動団体の育成および指導者の確保

第6節 芸術・文化施設の利用促進および鑑賞・発表機会の拡充

(2) 評価方法

新型コロナウイルス感染症の影響により、中止せざる得ない事業があったことから、評価基準を4段階から5段階に見直し、さらに事業担当課が実施状況等により事業項目の整理を行って、内部評価を実施しました。

令和2年度までの評価基準	令和3年度の評価基準
A・・・十分達成できた	A・・・計画以上の成果をあげた
B・・・おおむね達成できた	B・・・達成できた
C・・・やや不十分である	C・・・おおむね達成できた
D・・・不十分である	D・・・達成できなかつた
	ー・・・評価なし

(3) 評価集計表

①学校教育課関連事業

事業名	事業細目	評価	
		A	B
学校教育事業 (教育振興基本計画 第2章)	55	A	6
		B	43
		C	2
		D	0
		-	4

②生涯学習課関連事業

事業名	事業細目	評価	
		A	B
社会教育事業 (教育振興基本計画 第1章、第3章)	27	A	0
		B	24
		C	2
		D	0
		-	1
社会体育事業 (教育振興基本計画 第4章)	50	A	4
		B	27
		C	1
		D	0
		-	18
公民館事業 (教育振興基本計画 第1章、第3章)	74	A	1
		B	48
		C	6
		D	0
		-	19

事業名	事業細目	評価
芸術文化・コミュニティセンター関係事業 (教育振興基本計画 第6章)	4	A 0
		B 4
		C 0
		D 0
		- 0
図書館事業 (教育振興基本計画 第1章)	27	A 2
		B 24
		C 0
		D 0
		- 1
文化財関係事業 (教育振興基本計画 第6章)	19	A 0
		B 17
		C 0
		D 0
		- 2

③世界遺産登録推進室関連事業

事業名	事業細目	評価
世界遺産登録推進室事業 (教育振興基本計画 第5章)	26	A 2
		B 22
		C 0
		D 0
		- 2

④合計

事業名数	事業細目	評価
8	282	A 15
		B 209
		C 11
		D 0
		- 47

(4) 三課各事業の点検・評価

第2章 学校教育の充実

第1節 幼児教育・義務教育の充実

幼児教育の充実

事業名	実施状況	実績	評価
1. 「一の教育」研修事業	<p>町内の認定こども園、保育所、小学校等の教職員による授業参観や交流・懇談を通して、幼児教育から初等教育への接続期における望ましい指導のあり方等について研修を深めるとともに、相互の連携を図り一貫性を強化することにより、就学前教育及び小学校教育の振興充実に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「一の教育」研修会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ①令和3年6月1日（火） ②令和3年11月9日（火） ・対象：町内の認定こども園、保育所、小学校等の教職員等 ・会場：町民文化センター、いちのへじょうもんの里こども園 ・内容：①講義：県教委による「幼児教育の充実に向けて」 <ul style="list-style-type: none"> ②こども園の参観後、「保育参観から学んだこと、保小接続期のカリキュラムとスタートカリキュラムの見直しについて」協議 <p>◆一戸町教育実践集録 第Ⅲ部「一の教育」刊行（実践事例）</p>	<p>【研修会参加人数】</p> <p>① 11名 ② 12名</p> <p>刊行した。</p>	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○1回目の研修会では幼児教育の充実に向けた県の動向を知ることができ、参加者のグループ協議では各学校の「一の教育」を見通すことができた。また、2回目の研修会では、こども園の参観により保育・教育の学び合う機会となった。			

自ら学ぶ意欲の育成と基礎学力の向上

事業名	実施状況	実績	評価
2. 学力向上の推進	<p>◆学力向上推進委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の小中学校の教員の中から学力向上推進委員を委嘱し、基礎学力定着のため調査研究し、一戸町の教育水準の向上と充実に資する。 ・委員（8名）による学力検査の分析を行い、分析資料のまとめと今後の活用の在り方について検討した。 	2回開催	B

<p>◆ 「一戸町教育実践集録」の刊行 第Ⅰ部 一戸町の学力向上 ・内容：各校の学力向上の取り組みを紹介 一戸町学校教育研究会の取り組みを紹介</p> <p>◆読書推進活動 ・全児童を対象に学年ごとの年間目標読書冊数(低80冊、中60冊、高40冊)を設定し、達成できた児童には賞状等を与えることにより、読書意欲の向上を図っている。 ・学校司書・図書館業務担当者研修会（年2回）</p> <p>◆図書贈呈事業 ・子どもが読書などに主体的、意欲的に取り組める環境づくりを進めることを目的に、町立小・中学校の入学者を対象に図書贈呈事業を実施した。</p> <p>◆学校図書館の整備充実 ・蔵書情報の共有化や図書資料の有効活用について、町立図書館と連携を図っている。</p> <p>◆英語検定、日本語検定、数学検定の検定料の補助 ・中学校2・3年生を対象に、英語検定、日本語（漢字）検定、数学検定の検定料を年1回に限り補助することで、生徒の英語や漢字、数学の力を高めることに資する。</p> <p>◆土曜学習 ・公営塾が運営主体となり中学生の希望者を募り開催し、個別の課題の克服に向けて一人ひとりに応じた学習を進める。</p> <p>◆ICT機器を含む教材・教具の整備充実 ・関連の特定財源に係る感染症対策に因んだ前倒しを受け、1人1台相当となるタブレット端末の追加および校内の通信環境設備の増強を実施した。</p>	刊行した。 目標達成児童数割合 96% <p>【贈呈者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校1年生：56名 ・中学校1年生：82名 <p>一戸南小学校、鳥海小学校、小鳥谷小学校、奥中山小学校の4校に学校司書を配置</p> <p>【延べ受検者数】</p> <p>115名</p> <p>【受講者数】</p> <p>50名</p> <p>1人1台のタブレット端末整備と各教室に電子黒板を配置した。</p>
--	--

3. 諸検査・調査の実施	<p>◆知能検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査対象：小学校2、5学年・中学校2学年 <p>◆学力検査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査対象：小学校全学年・中学校1、2学年 ・検査教科：小学校 国語・算数 中学校1年 国語・数学 中学校2年 国語・数学・社会・理科・英語 <p>◆学習定着度状況調査（実施主体は岩手県）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査対象：小学校5学年・中学校2学年 ・検査教科：小学校 国語・算数・質問紙調査 中学校 国語・数学・質問紙調査 <p>◆全国学力・学習状況調査（実施主体は国）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査対象：小学校6学年・中学校3学年 ・検査教科：小学校 国語・算数・質問紙調査 中学校 国語・数学・質問紙調査 	全検査及び調査を予定どおり実施した。	B
4. 学校支援員等（ジョイントティーチャー、学級補助員含む）の配置	学習面で遅れが見られる児童生徒に対し、きめ細やかな指導を行い、学習内容の理解と定着を図った。	<p>【配置校】</p> <p>一戸小 3名 一戸南小 3名 鳥海小 1名 小鳥谷小 2名 奥中山小 3名 一戸中 2名 奥中山中 2名 計 16名</p>	B
5. 学力向上支援員の配置	児童生徒の基礎学力向上のため、学力向上支援員を配置して指導の強化を図った。	<p>【配置校】</p> <p>一戸南小 1名 奥中山小 1名 一戸中 1名 奥中山中 1名 計 4名</p>	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<p>○学力向上の推進については、学力向上推進委員会において各校の課題と参考になる事項等を交流することにより町全体の学力向上の意識をもたせることができた。また、授業と家庭学習の連動や組織的な学力向上についての取組が具体的に進められている。</p> <p>○読書推進活動においては目標達成児童数の割合が高く、読書意欲は依然として高い。</p> <p>○土曜学習の受講者数は増加傾向にあり、学習意欲の向上がうかがえる。</p> <p>●英語検定等については、英語検定への偏りが見られるため、日本語（漢字）検定や数学検定の受験者数の向上のため積極的な呼びかけ等が必要である。</p>			

社会社会の変化に対応した教育の充実

事 業 名	実 施 状 況	実 績	評価
6. 中高生の国際交流事業	<ul style="list-style-type: none"> 平成 18 年度より軽米町との合同により海外派遣事業を行ってきた。 平成 21 年度は新型インフルエンザの世界的な流行等をふまえ実施を見送ったが、平成 22 年度から再開し、平成 25 年度からは新たに一戸高校から団員を派遣している。 令和 2 年度は新型コロナウイルスの影響により中止したが、令和 3 年度は研修地を国内として実施した。なお、前年度中止のため 3 学年生徒も対象として募集した。 研修期間：令和 4 年 1 月 5 日から 8 日まで 研修場所：福島県 ブリティッシュヒルズ 	<p>【参加生徒数】</p> <p>一戸中 6 名 奥中山中 2 名 一戸高 8 名 (軽米中 6 名、 軽米高 4 名)</p>	B
7. 一戸町中学生英語キャンプ事業	<ul style="list-style-type: none"> 中学 1 年生を対象とし、外国語指導助手（ALT）との活動や同世代との交流、異文化の見聞、英語を使ったコミュニケーションなどの成功体験による事後の学習意欲の向上が望める事業として実施している。令和 2 年度は新型コロナウイルスの影響により中止したが、令和 3 年度は通常どおり実施した。 <p>実施期間：令和 3 年 8 月 3 日から 8 月 4 日まで 実施場所：奥中山高原センターhaus</p>	<p>【参加者数】</p> <p>一戸中 4 名 奥中山中 1 名 ALT 3 名</p>	B
8. いちのへ未来議会の実施	<ul style="list-style-type: none"> 公職選挙法の一部改正により選挙権年齢の引き下げが行われたことを契機に、社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら社会を生き抜く力や地域の課題解決を社会の構成員の一人として主体的に担うことができる力など、主権者として求められる資質・能力を育む教育いわゆる主権者教育の推進が求められている。町内中学生を対象にまちづくりへの関心を高め、参画意識の醸成を図るとともに郷土愛を育むことを目的にいちのへ未来議会を実施した。 <p>第 6 回いちのへ未来議会：令和 4 年 2 月 4 日（金）</p>	<p>【参加者】</p> <p>一戸中 10 名 奥中山中 5 名</p>	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<p>○中高生国際交流派遣事業は、研修地を国内としたが、英語・異文化交流の体験ができ、参加生徒等からも有益であったとの評価であった。</p> <p>○いちのへ未来議会への取組を通じて主権者教育の推進が図られるとともに、まちづくりへの参画意識の醸成や郷土愛を育むことができた。</p> <p>●新型コロナウイルスの影響がどの程度続くか不透明のため、国外・国内を問わず研修地について事前の状況把握が必要である。</p> <p>●中学生英語キャンプ事業については、各学校から一定数の参加が見込まれるよう、実施期間の設定と積極的な参加勧奨が必要である。</p>			

健康教育の推進

事 業 名	実 施 状 況	実 績	評価
9. 学校保健研究大会	毎年度、健康教育の推進に資するため、一戸町学校保健会との共催により研究大会を開催していたが、令和3年度は、コロナウイルスの流行により、実施を見送った。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	-
10. 表彰関係	・令和3年度岩手県学校歯科保健優良校表彰 優秀校：一戸中学校 優良校：一戸南小学校 努力校：一戸小学校 鳥海小学校 奥中山小学校	学校歯科保健優良校表彰において、町内5校が表彰された。	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○学校及び学校歯科医と連携しながら、各校で工夫を凝らした歯科保健活動を実施することができた。 ●研究大会は、学校や家庭、関係機関との連携や保健活動の充実を図り、関係職員の知識・能力向上を図る事業であるため、実施できるように努める。			

心の健康問題対策の充実

事 業 名	実 施 状 況	実 績	評価
11. 生と性を考える学習会	二次性徴による著しい体の変化、それに伴つておこる不安や悩みを軽減するため、町内各中学校の2学年を対象に実施した。	町内中学校2校で実施した。	B
12. スクールカウンセラー活用事業	学校における教育相談体制の充実や教員の資質向上を図るため、臨床心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有する方をスクールカウンセラーとして配置した。	【配置校】 一戸中学校 奥中山中学校 奥中山小学校 (奥中山地区は1名が兼務)	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○性教育だけでなく、自分や他者を大切にする人間関係を築くことができた。 ○スクールカウンセラーは町内に2名配置され、全小中学校をカバーしている。			

第2節 学校、家庭、地域の連携による「地域とともにある学校」づくりの推進

地域の特色を生かした開かれた学校づくり

事業名	実施状況	実績	評価
13. 学校評議員制度	<p>校長が教育方針や教育活動等について、学校評議員から広く意見を聞くことにより、地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進し、学校が家庭や地域と連携協力しながら、特色ある教育活動を展開できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評議員配置数：小学校 16名 中学校 5名 	小学校4校16名、中学校1校5名を委嘱した。	B
14. 学校運営協議会	奥中山地区に続き、鳥海小学校で設置した。また、小鳥谷小学校で準備委員会を立ち上げ翌年度設置に向けて協議を行った。	奥中山地区（奥中山中学校と奥中山小学校とで共同設置）と鳥海小学校の計3校で設置済み。	C
15. 学校へ行こう	開かれた学校づくりを目指し、学校公開を実施することにより、学校の特色を多くの町民に知ってもらう。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、地域への学校公開は行わなかった。	—
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<p>○会議を開催し、評議員の意見を取り入れた学校経営に努めることができた。</p> <p>○町内の約半数の学校で運営協議会を設置できた。</p> <p>●学校運営協議会については、残る3校について4年度中に立ち上げ予定なので、引き続き支援していく。</p>			

第3節 特別支援教育の充実

適切な就学指導の推進と特別支援教育の充実

事業名	実施状況	実績	評価						
16. 就学支援委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・総会の開催（委員26名） ・専門部会の開催（2回 委員17名） 各学校、認定こども園、保育所等からの個別検査の依頼を受け、個別検査の分担と業務の推進を確認した。 個別検査結果を分析し、総合判別会議への提出資料を作成した。 ・総合判別会議では、心身障がい児の総合判別と、教育措置について審議した。 	<p>【総合判別人数】</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>児童等</td> <td>67名</td> </tr> <tr> <td>就学児</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>小1～中2</td> <td>62名</td> </tr> </table>	児童等	67名	就学児	5名	小1～中2	62名	B
児童等	67名								
就学児	5名								
小1～中2	62名								

17. 学級補助員の配置	知的障がい、軽度発達障がい等児童生徒への対応として配置している。	【配置校】 一戸小 3名 一戸南小 3名 鳥海小 1名 小鳥谷小 2名 奥中山小 3名 一戸中 2名 奥中山中 2名 計 16名	B
--------------	----------------------------------	--	---

成果と課題 (○ : 成果、● : 課題)

○就学支援については、健康子ども課や認定こども園、保育所等との連携を図りながら、支援を必要とする幼児等の適切な就学に向けた支援ができた。また、学級補助員等の配置により、特別支援学級等に在籍する児童の安全確保ときめ細かな指導を行うことができた。

第4節 小中学校の教育環境の整備充実

学校教育機関の施設・設備の計画的な整備充実

事 業 名	実 施 状 況	実 績	評価
18. 各種修繕工事	小中学校校舎等維持管理のための各種修繕を行う。	各小中学校の要望箇所について確認を行い、計画的に修繕を行った。	B
19. 一戸小学校屋根等改修工事及びエアコン設置工事	老朽化した屋根等の改修及び各教室等にエアコン設置を行ったもの。	【工事費】 190,058,000 円	B
20. 一戸南小防火設備改修工事	老朽化した防火設備について改修を行ったもの。	【工事費】 18,095,000 円	B
21. 町立小中学校エアコン設置工事	コロナ禍における換気対策として全ての小中学校にエアコンを設置したもの。	【工事費】 221,591,700 円	B
22. 旧一戸幼稚園改修工事	幼稚園閉園後の利活用のため、園舎の改造工事を行ったもの。	【工事費】 5,440,000 円	B
23. 理科教育設備整備費等補助金(国庫補助事業)	小学校 2 校、中学校 1 校を対象に、理科、算数・数学設備について備品を整備した。	【整備額】 ・ 小学校 640,910 円 (補助 297 千円) ・ 中学校 365,080 円 (補助 173 千円)	B

24. 教材備品整備	全学校を対象に教材備品を整備した。	【整備額】 ・小学校 3,726,517円 ・中学校 1,039,202円	B
------------	-------------------	---	---

成果と課題（○：成果、●：課題）

- 大規模改修を含めた各種修繕等を計画的に行い、安全な学習環境の整備が図られた。
- 理科、算数・数学設備備品を購入することにより、学習に必要な教材、設備を整備した。
- 補助対象備品についての周知徹底を行う。

校外学習の輸送手段の整備

事業名	実施状況	実績	評価
25. スクールバス運行管理	コロナ対策として宇別・摺糠方面を2台体制とした。	スクールバス8台	B

成果と課題（○：成果、●：課題）

- 各学校の児童生徒数に合わせてスクールバスを運行できた。

安全指導体制の確立と安全管理の徹底

事業名	実施状況	実績	評価
26. 災害共済給付事業	学校の管理下における児童生徒の傷害等に対する掛金を負担し、災害時における医療費等の自己負担分を給付した。	・給付件数：72件 ・給付額 2,430,300円	B

成果と課題（○：成果、●：課題）

- 全児童加入により、学校管理下での傷害等に対し、金銭的給付を行い、保護者の負担軽減を図った。

安全・防災に関わる連携強化と実践活動の充実

事業名	実施状況	実績	評価
27. 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	地域との連携を重視し、地域のボランティアを活用するなど地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備し、安全で安心できる学校が確立されるよう取組を行う。 ・スクールガードリーダーによる学校の巡回指導 ・一戸町交通指導隊長をスクールガードリーダーに委嘱し、町内小学校の登下校時に巡回指導を実施。 ・学校安全ボランティア（スクールガード）養成講習会 二戸警察署より講師を招き講演会を実施。 実施日：令和3年11月17日（水） 場所：一戸町コミュニティセンター	児童及び生徒が巻き込まれる事件事故を未然に防止することができた。	A

成果と課題（○：成果、●：課題）

○各学校での養成講習会開催は5年に1度であったものを、一箇所で全校のスクールガードを集め養成講習会を行った。スクールガード同士の情報交換の機会となった。

●人口減少、高齢化にともないスクールガードの担い手が減少している。従来の活動ではスクールガードの負担が大きい。活動方法の見直しが必要。

健康管理体制の見直しと推進

事業名	実施状況	実績	評価
28. 学校健康管理事業	<p>園児・児童生徒が心身ともに健康であるために、毎年定期健康診断を実施し、疾病異常の早期発見、早期治療に努める。また、教職員の健康管理にも努め、健康診断の結果に基づいて適切な事後措置を講ずるため、町内全学校・幼稚園に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を委嘱した。</p> <p>昨年度に引き続き、フッ化物洗口を実施する学校に対し薬剤等購入に係る経費を全額負担した。また、平成28年度から必須検診項目となった運動器検診については、引き続き内科検診及び就学時健診時に実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒及び教職員の各種健康診断について、適切に実施した。 ・小学校全校でフッ化物洗口を実施した。 	B

成果と課題（○：成果、●：課題）

○各種健康診断の結果に基づいた事後指導に努めるとともに、学校、保護者、学校医との連携を深めた。

●中学校全校でのフッ化物洗口の実施に努める。

第5節 学校給食の充実

食育の推進

事業名	実施状況	実績	評価
29. 学校給食	<ul style="list-style-type: none"> ・1食給食単価 小学校 245円・中学校 274円 (児童生徒の給食費はそれぞれ26円を減額) ・給食日数及び食数 小学校：185日 92,513食 (盛岡みたけ支援学校分含む) 中学校：183日 54,043食 (盛岡みたけ支援学校分含む) その他：200日 3,858食 	<p>児童生徒の給食における牛乳代のおよそ半額分(26円)を教育委員会(町)が負担し、食育に寄与した。</p>	B
30. 学校訪問指導等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問による食育の指導 ・献立表・食育だより・献立カレンダーによる食に関する情報の提供(月1回) 	<p>学校訪問による食育指導を24回実施した。</p>	A

成果と課題（○：成果、●：課題）

○栄養バランスの取れた食事内容となるよう工夫し、衛生管理の徹底や食物アレルギー対応給食に対応するなど、安全でおいしい給食の提供ができた。

●学校訪問指導について、食育センター業務との調整が必要であり、回数が制限される。

学校給食の内容改善の促進

事業名	実施状況	実績	評価
31. アレルギー対応	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会において策定した「一戸町アレルギー疾患対応指針」に基づき個別支援プランを作成し、給食対応が必要な場合には保護者面談を行ない代替食品や除去食による対応を行なった。また、安全な給食提供が困難な児童生徒については弁当対応とした。 <p>対象児童生徒数：27名</p>	アレルギーを持つ児童生徒に対し、安全な給食を提供することができた。	A
32. 地元農産物の活用	<p>◆安全・安心な給食を提供するため、地元農畜産物を給食に使用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 米：いわてっこ（町内産）、黒米（町内産） 雑穀：町内産のいなきび、ひえ、あわ、たかきびを使用した、雑穀入りハンバーグや、いなきび入り肉じゃがなどの提供を行った。 野菜・果物類：サラダボウル・こずやを中心に町内産の野菜・果物を購入し使用した。 牛乳：奥中山高原農協乳業の牛乳を使用した。 <p>◆県産品である豚肉・鶏肉・短角牛などの肉類や、野菜類、海藻類を使用した。</p>	<p>【町内産食材】</p> <p>米、黒米、雑穀、きゅうり、トマト、大根、白菜、キャベツ、ねぎ、しいたけ、レタス、ロメインレタス、ピーマン、ズッキーニ、ゆうがお、かぼちゃ、じゃがいも、ヤーコン、うるい、りんご、米粉、牛乳、ヨーグルト、奥中山高原牛</p>	A
33. 給食の活用	<ul style="list-style-type: none"> 御所野遺跡の世界遺産登録を祝い、「御所野縄文給食」を実施した。（古代米ごはん、祝いなるとのすまし汁、御所野縄文ハンバーグ、お祝い洋梨ケーキなど） 東京 2020 パラリンピックホストタウン事業として「オリンピック給食」や「パラグアイ給食」を実施した。（オリンピック夢メンチカツ、エンパナーダ風揚げ餃子、トマト入りビーフシチューなど） 	給食を通して、世界遺産登録を祝ったり、オリンピックホストタウンの啓発ができた。	A

成果と課題（○：成果、●：課題）

○アレルギー対応について、アレルギー疾患の状態と管理における共通理解が図られ、アレルギーを持つ児童生徒に対し、安全な給食を提供することができた。また、給食の活用においては、学校給食を通して、御所野遺跡の世界遺産登録をお祝いしたり、オリンピックホストタウンの啓発ができた。

●地元農産物の活用において、献立にあわせた野菜の納入時期の確保、冬場の供給確保が課題。

第6節 教育に関する経済的負担の軽減、就学援助・通学対策等の充実

総合的な通学対策の推進

事業名	実施状況	実績	評価
34. 遠距離通学費補助	(スクールバス以外で)路線バスまたは徒歩等により通学している児童生徒に対して通学費(定期券等)を支給している。 通学距離規定に満たない場合でも、保護者の要望や状況により支給対象とし補助を行った。	【対象者】 <ul style="list-style-type: none">・小学校 : 55名・中学校 : 55名 【支給額】 <ul style="list-style-type: none">・小学校 1,012,695円・中学校 4,596,580円	A
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
○通学距離規定に満たない場合でも、保護者の要望や状況により支給対象とし補助を行った。 ●今後、人口減少に伴う学校の統廃合が進んだ場合、定期路線バス等の公共交通機関が運行していない地区から通学となる可能性がある。			

小・中学校の適正配置と就学区域の弾力化の推進

事業名	実施状況	実績	評価
35. 学区外、区域外就学の許可	・転居により就学校が変更する場合や特別支援学級への就学を希望する場合など、保護者の申請により要綱に基づき学区外就学を認めている。 ・区域外就学も保護者の申請により年度途中の転出入や通学距離を考慮し、該当市町村と協議のうえ認めている。	・学区外就学 申請1件 : 許可 ・区域外就学 申請5件 : 許可	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
○児童生徒の教育環境や通学に配慮し、対応した。 ●制度や手続き方法について周知する。			

その他で担当している業務分

事業名	実施状況	実績	評価
36. 要保護、準要保護児童生徒就学援助費	経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して必要な援助を行った。 学校を通じ、家庭の収入状況が減少した場合も隨時申請を受付し、切れ目の無い支援を行った。 年度途中の認定についても切れ目無く支給費目について支援を行った。	・小学校 要保護 : 5名 準要保護 : 45名 支給総額 3,403,422円 ・中学校 要保護 : 4名 準要保護 : 34名 支給総額 4,930,361円	B

37. 教科書無償給与	各小中学校へ教科書の無償給与を行った。 一般図書や拡大教科書等の給与は需要がないために行われなかつた。	【給与総数（転学用含む）】 ・ 小学校 4,384 冊 ・ 中学校 2,406 冊	B
38. 部活動指導員の配置	全国的に部活動の在り方についての議論が進む中、学校教育活動の一層の充実と教員の「働き方改革」の実現を図ることを目的に実施した。	・ 一戸中学校 剣道部 1 名 卓球部 2 名 ・ 奥中山中学校 スキーパー 3 名	C
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○無償給与される小中学校の教科書について、遗漏なく事務を進めることができた。			
○中学校 2 校に指導員を配置し、教職員の負担軽減を図ることができた。			
●文化部の指導員の人員確保。			

第 7 節 教職員の資質の向上

教員研修の充実

事業名	実施状況	実績	評価
39. 学級経営研修会	学級担任を対象に、望ましい人間関係づくりを促進する学級経営の在り方について研修を深める。 ・ 対象：小中学校学級担任と希望者 ・ 期日：令和 3 年 7 月 27 日（火） ・ 会場：町民文化センター ・ 内容：講義・演習（事例検討） 講義「Q-U を用いた学級経営事例検討（K-13 法）の実際」	各学校から 7 名出席	B
40. 校長管外視察研修	管外の先進校において、新しい教育課題の指導実践等視察を行い、学校経営の向上に資する。 【計画】 ・ 対象：町内小中学校長・教育委員会事務局 ・ 期日：令和 4 年 1 月 11 日（火）～12 日（水） ・ 視察先：横浜市立東山田中学校 横浜市立羽沢小学校 ・ 研修内容 ① 「コミュニティスクールを活かした取組と学校経営について」（東山田中学校） ② 「SDGs の先進的な取組と学校経営について」（羽沢小学校）	計画したが新型コロナウイルス感染拡大のため中止	—

41. 副校長管外視察研修	管外の先進校において、新しい教育課題の指導実践等視察を行い、指導力の向上に資する。	新型コロナウイルス感染拡大のため中止	—
42. 教務主任研修会	町内小中学校の教務主任を対象に、研究協議等を通じて教務主任の在り方や教育課程の進行管理等について研修を深め、指導力の向上に資する。 ・開催日：令和4年2月25日（金） ・会場：町民文化センター	例年どおり開催した。	B
43. 小中合同研修会	小学校・中学校の連携を強化し、児童生徒の健全育成や学力向上に関する研究・研修を行い、教育水準の向上を図る。 ・実施区域：一戸中学校区・奥中山中学校区	例年どおり開催した。	B

成果と課題（○：成果、●：課題）

○学級経営研修会は会津大学文化研究センター教授の苅間澤勇人氏からQ-Uを活用した事例検討等の講義を頂き、今後の学級経営の充実にすることができた。

○校長並びに副校長管外視察研修は新型コロナウイルスの影響で実施できなかつたが、その他の研修は予定どおり実施することができ、各学校の諸課題や情報交換を通じて所期の研修目的が達成できた。

生きる力を育む教育の研究と実践

事 業 名	実 施 状 況	実 績	評価
44. 総合的学習事業	「総合的な学習の時間」において、児童生徒に「生きる力」を培うために、町内小中学校独自の研究を推進し、望ましい支援のあり方や資料等の整備充実を図り、一戸町の教育水準の向上に資する。 ・対象校：小中学校全校	全小中学校が実施した。	B
45. いちのへ御所野縄文学事業	御所野縄文文化について探究的に学ぶ教育実践の充実を図ることを通して、主体的・対話的・探究的に学ぶ力を育むとともに、地域を愛し、「ふるさと」である一戸を誇りに思う児童生徒の育成に資する。（全小中学校対象） ・いちのへ御所野縄文学事業推進委員会の開催 ①令和3年6月29日　総合的な学習時間等の授業実践 ②令和3年7月28日　転入教職員対象・・台風中止 ③令和3年3月　実践交流会・・各校の映像発表 ・世界遺産学習連絡協議会への加盟 趣旨：世界遺産や地域の文化遺産、自然環境などESD（持続可能な開発のための教育）に関する優れた実践活動の交流を通して、それぞれの地域の取組を発信し合い、互いに学び合うことで生まれ育った地域に誇りを持ち、持続可能な社会の担い手としての意欲や態度を養う。	全小中学校が実施した。 「第12回世界遺産学習全国サミット in 屋久島」へのオンライン参加	B

成果と課題 (○ : 成果、● : 課題)

○総合的な学習では、各学校や地域の特色を踏まえた学校独自の課題を設定し、計画的に調査研究を進めることができた。

○第1回目のいちのへ御所野縄文学事業推進委員会では、一戸小学校5学年のICTを活用した総合的な学習の時間の授業を参観し、実践の在り方について、学び合うことができた。

学校の実態を生かした教育の充実

事業名	実施状況	実績	評価
46. 研究指定校等研究事業	<p>町内の小中学校の研究指定校並びに研究実践校等の研究や実践の推進を図り、教育水準の向上に資する。</p> <p>◆学校公開研究会 奥中山小学校（令和3年9月30日） ・研究主題「主体的・対話的に学ぶ子どもの育成」（一戸町教委・二戸地区教育推進協議会指定）</p> <p>◆特色ある学校づくり推進 ・一戸小学校「地域資源を活用した健康な心と体づくり」～知・徳・体のバランスのとれた人間育成のための地域資源の活用を通して～ ・一戸南小学校「自ら考え、向上心をもって学習する子どもの育成」～算数科において、自分の考えを確かなものにするための交流の工夫を通して～ ・鳥海小学校「自らかかわり学びゆく子どもが育つ授業」～「目的意識」を大切にした算数科複式指導を通して～ ・小鳥谷小学校「自ら考え、学習を進める児童の育成」～算数科における考え方を伝えるための支援の工夫、考え方を深める場面の工夫を通して～ ・奥中山小学校「主体的・対話的に学ぶ児童の育成」～言葉による見方・考え方を働かせた言語活動の充実を通して～ ・一戸中学校「学び合いを通して自分の考えを表現できる生徒の育成」～ICTを活用した学び合いの工夫を通して～ ・奥中山中学校「自分の思いを主体的に伝える生徒の育成」～伝える場面の工夫を通して～</p>	<p>町内外の学校関係者等80名以上の参加により開催した。</p> <p>全小中学校が実施した。</p>	B

成果と課題 (○ : 成果、● : 課題)

○奥中山小学校の学校公開研究会の研究副題は、「通常学級が「言葉による見方・考え方を働かせた学習活動の充実を通して」、特別支援学級が「人とのかかわりの中で楽しさを感じられる単元学習を目指し」と設定し、令和元年度から進めてきた研究実践について授業公開を行い関係各位からの指導・助言により今後の研究実践に活かすことができた。

○特色ある学校づくりの推進に係る研究事業については、各学校の特色を活かした教育活動を実施できた。

第8節 いじめ、不登校等への対応の充実

不登校・非行・いじめなどの問題の未然防止、解消

事業名	実施状況	実績	評価
47. 一戸町いじめ問題対策連絡協議会	<p>一戸町いじめ防止基本方針のもと、一戸町内の小学校・中学校、関係諸機関等との連携を図り、いじめ問題の未然防止や早期発見・早期対応をめざした取組の充実に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議：令和3年5月7日（金） ・対象：二戸警察署生活安全課長・一戸交番所長・岩手県総合福祉相談センター福祉司・盛岡地方法務局二戸支局・一戸町健康子ども課長・一戸町主任児童委員・県北教育事務所指導主事・在学青少年指導員・一戸高等学校長・一戸町校長会代表2名 ・会場：町民文化センター 	1回開催	B
48. 学校警察連絡協議会	<p>児童生徒の健全育成のため、一戸町内の小・中学校・高等学校が生徒指導について、相互に綿密な連携を図るとともに、関係諸機関等と連携を密にし、生徒指導の充実に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議：①令和3年7月1日（木） ②令和3年12月1日（水） ・対象：二戸警察署生活安全課長・一戸交番所長・小鳥谷駐在所長・中山駐在所長・各少年補導員・各小中学校長・一戸高等学校長・各校生徒指導主事又は担当者 ・会場：①町民文化センター、②一戸高校 ・内容：二戸警察署生活安全課長による講話と情報交換 ※毎回、学校警察連絡協議会に合わせて、生徒指導連絡協議会を開催している。 	2回開催	B
49. 学級生活満足度調査（Q-U）	<p>児童生徒の学級生活に対する満足感について実態を調査し、集団の中であたたかな人間関係づくりに役立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査学年：全校小学校4学年以上 ・調査回数：年2回（5月・11月） <p>※実施期日は各学校の裁量による</p>	各校2回実施	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<p>○一戸町の学校におけるいじめや児童生徒の問題行動の実態を関係機関と共有・情報交換により今後の生徒指導に資することができた。</p> <p>○Q-Uの調査により学級経営の指標とすることができた。また、夏季休業中にQ-Uを分析する教職員による研修会を開催して活用を図った。</p>			

その他

学校の管理運営

事 業 名	実 施 状 況	実 績	評価
50. 町立学校職員の任免・分限処分及び懲戒処分並びに服務等	<ul style="list-style-type: none"> ・県教委の指導により、適切に処理している。 ・綱紀保持については、これまで機をみて指導を行ってきたところであるが、軽微ながら交通事故（単独自損）が発生したことから、あらためて啓蒙に努める。 	処分の対象者なし。	B
51. 町立学校職員の給与・勤務時間・勤務条件等	<ul style="list-style-type: none"> ・県教委の指導により、適切に処理する。 	適切に処理した。	B
52. 奨学及び育英	<p>◆町育英会事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者の決定、償還対象者へ納付書の送付を行った。償還金について郵便による督促等の取り組みを行っている。 <p>◆田村清蔵奨学基金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用者の決定を行った。 ・信託利益が上がらず、基金を取り崩し給付している状況である。 	<p>【新規採用者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校 0名 ・各種学校 0名 ・大学 4名 <p>【新規対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学 2名 	B
53. 学校事務の共同実施	<ul style="list-style-type: none"> ・適正且つ効率的な学校事務の管理体制の確立が図られてきた。 ・共同実施組織と教委事務局との意見交換の場を設け、事務処理の改善に努めた。 	適正に進めることができた。	B
54. 幼稚園の認定こども園への移行	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度から一戸幼稚園と鳥海保育所が統合する形としての認定こども園設立に向けた検討会を福祉部と連携して行った。 	令和3年度において「いちのへじょうもんの里こども園」を設立。	B
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
●田村清蔵奨学基金は、基金を取り崩しているため、あと数年で枯渇してしまう。			

健康意識の高揚に関わる組織強化と機能化

事 業 名	実 施 状 況	実 績	評価
55. 一戸町学校保健会報の発行	町内小中学校教職員及び保護者、幼稚園・保育所等の職員及び保護者、医療関係者等へ年2回発行した。	年2回の発行を行った。	B
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
○学校保健思想の普及及び啓発が図られた。			

社会教育事業実施状況

第1章 生涯学習社会の構築

第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備

事 業 名	実 施 内 容	参加人数	評価
1. いちのへ 町民セミナー	<p>【共通課程】</p> <p>○期日及び内容</p> <p>① 6月19日 町民文化センター（開講式） 「地域の魅力」 元一戸町地域おこし協力隊 荒内雅美 氏</p> <p>② 7月9日 小鳥谷地区公民館 8月2日 奥中山地区公民館 11月10日 町民文化センター</p> <p>11月20日 鳥海小学校（全4回） 「一戸病院の在宅医療のあり方について」 一戸病院 職員</p> <p>③ 9月7日 一戸町体育館 「スポーツと健康科学」 富士大学 内城寛子 氏</p> <p>④ 1月22日 コミュニティセンター（閉講式） 「御所野遺跡世界遺産登録記念地域連携フォーラム」 平泉町観光商工課長 八重樫 忠郎 氏ほか</p>	受講生 ① 32名 ② 7/9 9名 8/2 2名 11/10 12名 11/20 22名 ③ 【中止】 ④ 15名	C
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 元地域おこし協力隊員の荒内氏から外から見た一戸町の魅力についての講演を行い、地域の魅力の再発見する場とすることことができた。 ○ 一戸病院職員から在宅医療のあり方についての講演を開催し、高齢化社会で注目される在宅医療について周知することができた。 ○ 閉講式の講座について当初の内容から「御所野遺跡世界遺産登録記念地域連携フォーラム」への参加に変更し実施した。県内3世界遺産での取組を知る機会となり、参加者からも好評を得ることができた。 ○ 受講者数は、各コース開催分を含めると延べ401人。目標の420人には達することができなかったが、コロナ禍ということを考慮するとおおむね達成できたと評価する。 			

第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成

事 業 名	実 施 内 容	参加人数	評価
2. 社会教育関係団体の育成	<p>○期日 年間</p> <p>○内容 団体活動補助金の交付</p> <p>○対象 ①一戸町子ども会育成連絡協議会（28団体 504名） ②一戸町地域婦人団体協議会（10団体 111名） ③一戸町P T A連絡協議会（7校 661名） ④一戸町文化協会（26団体 217名） ⑤一戸ユネスコ協会（個人会員99名 団体会員35団体）</p>		B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 関係機関に補助金を交付することにより、各団体の活動の活性化が図られた。 			

第3章 青少年の健全育成

第1節 指導者の発掘・養成

事業名	実施内容	参加人数	評価
3. 子ども会・育成会上級生研修会等	○期日 ①7月10日 御所野縄文博物館 ②2月13日 御所野縄文博物館 ○内容 体験活動・レク活動・かべ新聞	①小学生 9名 保護者 6名 高校生 4名 ②中止 ※かべ新聞のみ2子ども会参加	B
4. 岩手県ジュニアリーダー福祉ボランティア活動	○期日 8月6日～8日 国立岩手山青少年交流の家 ○内容 福祉ボランティア活動等	担当者 1名	C
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
○ ジュニアリーダー研修会は県内でコロナウイルスが発生している時期と重なったこともあり、中高生の参加希望がなく担当者のみの参加となった。 ○ 2月の上級生研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止としたが、かべ新聞は2子ども会が作成し、一戸地区センターに掲示し子ども会活動を周知することができた。			

第2節 子ども行事の活性化

事業名	実施状況	参加人数	評価
5. 放課後子どもプラザ・放課後子ども教室推進事業（国庫補助事業）	○期日 4月～3月 ○場所 ①町民文化センター（週5日） ②旧鳥越小学校（週5日） ③鳥海地区公民館（週5日） ④小鳥谷地区公民館（週3日程度） ⑤奥中山小学校（週5日） ○内容 平日放課後の居場所、週末の子ども教室の開催	登録者数 ① 29名 ② 10名 ③ 19名 ④ 15名 ⑤ 43名	B
6. 少年団体育成指導委員会議	○期日 ①5月12日 町民文化センター ②2月23日 町民文化センター ○内容 町子連行事への指導助言及び運営協力	①委員 6名 ②委員 6名	B
7. ニュースポーツ交流会	○期日 7月31日 一戸町体育館 ○内容 ニュースポーツ（ポッチャとスカットボール）の体験交流会	小学生 14名 高校生 6名	B
8. 逃走中ごっこ	○期日 11月7日 一戸町総合運動公園 ○内容 逃走中と缶けりを合わせたゲーム	小学生 158名 中学生 11名 一般 15名	B
9. 北いわて・子ども文化スポーツ体験プロジェクト（県事業）	① 文化体験 ○期日 11月18日 町民文化センター ○内容 放課後子ども教室の児童を対象とした大正琴の体験 ② スポーツ体験 ○期日 12月22日 小鳥谷地区公民館 ○内容 いわてグルージャ盛岡の選手との交流体験会（学童利用児童も11名参加）	① 14名 ② 21名	B
10. 第21回子ども会ドッジボール大会	○期日 11月23日 一戸町体育館 ○内容 小学生（低学年・高学年）によるドッジボール交流会	低学年5チーム 高学年7チーム 合計154名	B

11. 新年かきぞめ大会	○期日 1月8日 コミュニティセンター ○内容 毛筆によるかきぞめ	小学生～一般 75名	B
12. いわて希望塾（県事業）	○内容 岩手県主催の標記事業へ参加し、青少年の人間力を総合的に養うもの ※ 主催する岩手県の判断にて中止を決定。	【中止】	—
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 放課後子ども教室では、各方面からの協力をいただきながら、多彩な経験をさせることができた。 ○ 町子連行事での少人数の参加が可能なものとしてニュースポーツ交流会を試験的に実施したが、参加した児童からは好評であり、来年度以降のイベントとして検討していきたい。 			

第3節 健全な社会環境づくりの推進

家庭教育

事業名	実施内容	参加人数	評価																												
13. 家庭教育指導員の設置	家庭教育・幼児教育・青少年教育の充実	年間	B																												
14. 家庭教育講演会の実施	○期日 5月26日 町民文化センター ○内容 「一の教育」について	26名	B																												
15. 情報メディア対応能力養成講座	○期日 11月24日 久慈地区合同庁舎 ○内容 研修	1名	B																												
16. 家庭教育学級	○期日 年間 町内小中学校（小：5、中：2） ○対象 児童生徒、親等 ○内容 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>①一戸小学校</td> <td>(4講座)</td> <td>①一戸小学校</td> <td>220名</td> </tr> <tr> <td>②一戸南小学校</td> <td>(3講座)</td> <td>②一戸南小学校</td> <td>97名</td> </tr> <tr> <td>③鳥海小学校</td> <td>(4講座)</td> <td>③鳥海小学校</td> <td>88名</td> </tr> <tr> <td>④小鳥谷小学校</td> <td>(4講座)</td> <td>④小鳥谷小学校</td> <td>167名</td> </tr> <tr> <td>⑤奥中山小学校</td> <td>(3講座)</td> <td>⑤奥中山小学校</td> <td>147名</td> </tr> <tr> <td>⑥一戸中学校</td> <td>(5講座)</td> <td>⑥一戸中学校</td> <td>478名</td> </tr> <tr> <td>⑦奥中山中学校</td> <td>(3講座)</td> <td>⑦奥中山中学校</td> <td>89名</td> </tr> </table>	①一戸小学校	(4講座)	①一戸小学校	220名	②一戸南小学校	(3講座)	②一戸南小学校	97名	③鳥海小学校	(4講座)	③鳥海小学校	88名	④小鳥谷小学校	(4講座)	④小鳥谷小学校	167名	⑤奥中山小学校	(3講座)	⑤奥中山小学校	147名	⑥一戸中学校	(5講座)	⑥一戸中学校	478名	⑦奥中山中学校	(3講座)	⑦奥中山中学校	89名		B
①一戸小学校	(4講座)	①一戸小学校	220名																												
②一戸南小学校	(3講座)	②一戸南小学校	97名																												
③鳥海小学校	(4講座)	③鳥海小学校	88名																												
④小鳥谷小学校	(4講座)	④小鳥谷小学校	167名																												
⑤奥中山小学校	(3講座)	⑤奥中山小学校	147名																												
⑥一戸中学校	(5講座)	⑥一戸中学校	478名																												
⑦奥中山中学校	(3講座)	⑦奥中山中学校	89名																												
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)																															
<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭教育指導員を設置し幼児を持つ保護者向け講演会や親子体験教室を実施し、家庭教育等の充実を ○ 情報メディアの付き合い方に関する講座等を実施することにより、教育振興運動と連携した活動となつた。 ○ 各小中学校単位での家庭教育学級では、それぞれが重点学習課題を定め、保健教室や情報モラル学習会、ものづくり体験など、児童及び保護者を対象とした学習の場を提供することができた。 																															

教育振興運動の推進

事業名	実施内容	参加人数	評価
17. 教育振興事務局長会議並びに家庭教育学級主事会議	○期日 6月4日 町民文化センター ○内容 令和3年度教育振興推進計画と実践内容、家庭教育学級について	事務局等6名	B
18. 教育振興運動推進委員会常任推進委員会(総会)	○期日 7月15日 町民文化センター ○内容 令和2年度報告及び令和3年度計画案	委員等18名	B
19. 地域とともにある学校づくり推進フォーラム(県)	○期日 6月23日 二戸市文化会館 ○内容 地域と学校の連携・協働やコミュニティ・スクールについて	1名	B
20. 地域学校協働本部事業(国庫委託事業)	○期間 4月～3月 ○目的 地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域との連携体制の構築を図るとともに、多様な形態の教員支援を行い、子どもと向き合う時間の拡充を図る。 ○内容 地域住民による学習支援、図書ボランティア、スクールガード、その他各種学校支援	導入校： 一戸南小 鳥海小 奥中山小 奥中山中 小鳥谷小	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
○ 小鳥谷小学校において令和4年度のコミュニティスクールの導入を見据え準備会が設立され、地域学校協働本部活動も開始された。			

○その他

推進体制の充実

事業名	実施内容	参加人数	評価
21. 二戸地区社会教育担当者会議	○期日 ①7月2日 久慈地区合同庁舎 ②9月16日 二戸地区合同庁舎 ③11月26日 久慈地区合同庁舎 ④2月18日 久慈地区合同庁舎	① 1名 ② 1名 ③ 1名 ④ 中止	B
22. 管内生涯学習・文化行政主管課長会議	○期日 4月26日 二戸地区合同庁舎	1名	B
23. 社会教育委員会議	① ○期日 5月25日 町民文化センター ○内容 令和2年度社会教育関係事業実施状況について 令和3年度 " 計画等について ② ○期日 12月22日 町民文化センター ○内容 令和3年度社会教育関係事業実施状況について 令和4年度の重点施策について	①委員11名 ②委員13名	B
24. 二戸地区社会教育連絡協議会総会・学習会	○期日 6月3日 二戸地区合同庁舎	委員6名	B
25. 市町村青少年育成担当課長会議	○期日 4月28日 ウェブ会議	1名	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
○ 関係機関との連絡調整及び情報交換を図ることができた。			

生涯学習の普及推奨

事業名	実施内容	参加人数	評価
26. 生涯学習カレンダーの作成	○期日 年1回（4月） ○内容 町内生涯学習関係行事等	配布 町内全戸配布	B
27. 学習相談事業の実施	学習内容への助言、講師等の紹介	年間 随時	B
	成果と課題 (○: 成果、●: 課題)		
	<input type="radio"/> 生涯学習活動のきっかけづくりとなった。 <input type="radio"/> 年間行事を周知することにより、各団体等の事業計画の参考となった。		

社会体育事業実施状況

第4章 スポーツの推進

第1節 スポーツ団体の育成及び指導者の確保

指導者養成

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. 岩手県スポーツ推進委員研修会	○期日 9月4日（奥州市）	【中止】	—
2. 東北地区スポーツ推進委員研修会	○期日 10月22日～23日（秋田県大潟村）	【中止】	—
3. 高齢者健康・体力づくり指導者セミナー	○期日 7月2日（盛岡市）	スポーツ推進委員 2名	B
4. 岩手県スポーツ推進委員初任者研修会	○期日 11月20日（コミセン・オンライン）	スポーツ推進委員 3名	B
5. 全国スポーツ推進委員研究協議会	○期日 11月18日～19日（佐賀県佐賀市）	【中止】	—
6. 一戸町スポーツ推進委員研修会	○期日 月 日	【中止】	—
7. 二戸地区生涯スポーツ研修会兼スポーツ交流会	○期日 月 日	【中止】	—
成果と課題 ○：成果、●：課題			
○各種研修会・講習会が軒並み中止となつたが、県内での講習会へは参加することでき、スポーツ推進委員の資質向上が図られた。			

奨励活動

事業名	実施内容	参加人数	評価
8. スポーツ賞表彰式	期日 3月1日	表彰者 個人 42名 団体 4団体	B
成果と課題 ○：成果、●：課題			
○優秀な成績を収めた個人・団体を表彰することで、機運醸成と競技力向上が図られた。			

団体育成

事業名	実施内容	参加人数	評価
9. スポーツ団体の育成	年間（体育協会、スポ少、種目別協会）	体育協会 20団体 スポ少 8団体	B
成果と課題 ○：成果、●：課題			
○多くの大会が中止となる中、開催することができた大会への派遣助成や統括団体への助成を行うことで、選手の育成が図られた。			

第2節 スポーツ・レクリエーション実践活動の促進

体力つくり関係

事業名	実施内容	参加人数	評価
10. 第37回一戸町総合スポーツ大会	①ゲートボール競技 ○期日 6月19日（奥中山高原開拓記念公園） ②ソフトボール競技 ○期日 6月13日（一戸小学校） ③軟式野球競技 ○期日 6月13日（一戸中学校） ④バレー ボール競技 ○期日 12月5日（一戸中学校） ⑤卓球競技 ○期日 12月5日（一戸町体育館） ⑥ビーチボール ○期日 12月5日（一戸小学校）	①4チーム 24名 ②中止 ③中止 ④中止 ⑤中止 ⑥4チーム 30人	C
11. 未就学児運動能力測定会	○期日 6月30日（一戸町体育館） 7月14日（奥中山小学校）	町内保育園児 75名 25名	A
12. 第64回町民体育大会	○期日 8月 奥中山 9月 平糠 10月 小鳥谷 10月 西法寺 10月 鳥海 10月 姉帶	【中止】	—
13. 第46回町民ロードレース	○期日 10月2日（陸上競技場）	小、中、一般男女 ロードレース 364名	B
14. 第47回一戸町駅伝競走	○期日 10月2日（陸上競技場）	【中止】	—
15. 第31回ゲートゴルフ大会	○期日 10月10日（総合運動公園）	小中一般男女 34名	B
16. 町民スポ・レク学級	○期日 1年間（町内希望団体）	幼児、小中一般男女 延べ88回 1,182名	B
17. なぎなた教室	○期日 1年間（一戸、小鳥谷、奥中山地区）	小、中、高、一般 77名	B
18. スキー教室	○期日 1月9日（奥中山高原スキー場）	小、中、一般男女 アルペン 30名 クロカン 10名	B
成果と課題 ○：成果、●：課題			
○昨年度と同様、新型コロナウィルス感染症の拡大防止のため一部事業が中止となったことは残念であった。 半面、感染対策を施しながら開催できた事業もあり、今後も可能な範囲での事業開催を進めていきたい。			

地区スポーツ振興会等事業

事業名	実施内容	参加人数	評価
19. [奥中山] ★奥中山地区総合体育大会 ソフトボール ゲートボール バレーボール 卓球 ★登山 ★ボウリング交流会 ★グラウンドゴルフ交流会 ★ゴルフ交流会	◎奥中山高原クラブ 奥中山小体育館ほか 青年・一般男 60才以上男女 一般女子 一般男女 一般男女 一般男女 一般男女 一般男女	すべての事業 【中止】	—
20. [小鳥谷] ★ソフトボール大会 ★ビーチバレー大会	◎小鳥谷地区スポーツ振興会 旧小鳥谷中学校 一般 小鳥谷公民館 一般	【中止】	—
21. [鳥海] ★ソフトボール ★ソフトバレー ★鳥海地区ペタングリーグ戦 ★カローリング教室	◎鳥海地区スポーツ振興会 鳥海小 一般男子 鳥海小 一般女子 鳥海小 一般男女 鳥海小 児童教員一般男女	【中止】 【中止】 のべ 72 名 【中止】	—
成果と課題 ○: 成果、●: 課題			
○多くの事業が中止となつたが、鳥海地区のペタンクリーグのみ実施できた。			

体育施設の開放

事業名	実施内容	参加人数	評価
22. スポーツの場開放	○期日 4月～3月 鳥越小、鳥海小、奥中山小、小鳥谷中、旧宇別小	491回 延べ 7,423人	B
成果と課題 ○: 成果、●: 課題			
○地域でスポーツする機会と場を確保する一助となることができた。 ●設備の老朽化や参加者の固定化、減少が共通の課題となつてゐる。			

第3節 スポーツ交流の促進

各種大会の開催と協力

事 業 名	実 施 内 容	参加人数	評価
23. 早起き野球リーグ	○期日 7月～8月 (4チーム)	一般男子 60名	B
24. 第73回岩手県民体育大会	○期日 8月 (県内市町村)	一般男女 5種目 36名	B
25. 中学校野球交流大会	○期日 4月29日 (総合運動公園)	中学生男 80名	B
26. 第49回町民登山	○期日 7月18日 (久慈平岳)	一般男女 24名	B
27. 一戸町長杯ペタンク大会	○期日 月 日 (総合運動公園)	【中止】	—
28. 一戸町希望郷ペタ ンク大会	○期日 月 日 (総合運動公園)	【中止】	—
29. 北岩手南青森中 学 校体育大会	○期日 月 日 (総合運動公園他)	【中止】	—
30. 第6回一戸町長 杯・第8回御所野縄 文史跡公園杯G・G 大会	○期日 10月7日 (総合運動公園)	一般男女 70名	B
31. 柴田俊春杯中学校 野球大会	○期日 月 日 (総合運動公園)	【中止】	—
32. 第51回北岩手南 青森親善バレーボール 大会	○期日 月 日 (一戸町体育館)	【中止】	—
33. 会長杯ターゲットバー トゴルフ大会	○期日 11月7日 (ターゲットバートゴルフ場)	一般男女 21名	B
34. 2022 FISCHER CUP クロスカントリースキー奥中山 高原大会 兼 第 62回一戸町小中学校スキー大会	○期日 1月29日 (奥中山高原スキー場)	【中止】	—
35. 2022 ROSSIGNOL CUP 奥中山高原ス キー大会 兼 第 62回一戸町小中學 校スキー大会	○期日 1月29日 (奥中山高原スキー場)	【中止】	—
36. 第15回奥中山高 原クロスカントリースキー大会	○期日 2月20日 (摺糠地区特設コース)	【中止】	—
37. 第11回一戸町長 杯なぎなた競技会	○期日 6月5日 (一戸町武道場)	小、中 男女 32名	B

38. なぎなたフェスティバル(高校選抜活躍報告会)	○期日 5月8日 (一戸町体育館)	高校生 15名	B
39. 第11回一戸町秋季なぎなた大会	○期日 10月9日 (一戸町武道場)	町内 小、中、高 男女 36名	B
40. なぎなた競技各種大会派遣事業	○令和3年度東北・北海道ブロックジュニア強化練習会 ○第20回東北・北海道なぎなた大会兼第14回東北・北海道 中学生なぎなた選手権大会 ⇒令和3年度ジュニアブロック大会(東北北海道少年少女なぎなた錬成大会)に代替開催 ○第73回岩手県高等学校総合体育大会なぎなた競技 ○第29回全国中学生なぎなた大会 ○全日本ジュニア強化合宿 ○日本少年武道(なぎなた)錬成大会 ○全国高等学校総合体育大会なぎなた競技 ○第26回岩手県高等学校新人なぎなた大会 ○東北高等学校なぎなた選抜大会 ○全国高等学校なぎなた選抜大会	中止 小中学生 24名 高校生 15名 (一戸高校以外 3名含) 中学生 11名 中学生 11名 中止 高校生 4名 高校生 8名 (一戸高校以外 1名含) 高校生 8名 (一戸高校以外 1名含) 高校生 5名 (一戸高校以外 1名含)	A

成果と課題 ○: 成果、●: 課題

- 中止となった大会も多かったが、開催した大会については関係団体への補助を行うことにより、主催団体の組織強化、運営力の向上が図られた。
- なぎなた事業について「なぎなたフェスティバル」を開催し、昨年度の全国高等学校なぎなた選抜大会での活躍を報告するとともに、今後のレベルアップを誓うことができた。
- 全国高等学校なぎなた選抜大会にて南館日奈太選手が大会前人未踏の二連覇を果たすことができた。

オリパラ関係

事 業 名	実 施 内 容	参加人数	評価
41. 東京2020オリンピック聖火リレー	○期日 6月16日 (御所野縄文公園～コミセン) ・東京2020オリンピック聖火リレー	ボランティア 100名	A
42. 東京2020パラリンピック聖火フェスティバル 「いちのへの火」採火式	○期日 8月14日 (御所野縄文公園) ・東京2020パラリンピックの聖火を採火	新成人代表、支援 学校代表 6名	B

43. 東京 2020 パラリンピック聖火フェスティバル「集火・出立式」	○期日 8月 16 日 (イオンモール盛岡) ・県内各地の東京 2020 パラリンピック聖火を集火し東京へ出立する	町代表 1名	B
44. パラグアイパラリンピック選手団事前合宿	○期日 8月 13 日～22 日 (総合運動公園・一戸小学校・ホテル奥中山高原) ・パラリンピックへ参加するパラグアイ代表団の事前合宿を町内で実施	選手団、関係者 11名	A
成果と課題 ○：成果、●：課題			
○オリンピック及びパラリンピックの成功のため、機運醸成に寄与できた。 ○パラグアイ共和国のホストタウンとして、選手団が大会へベストコンディションで臨めるよう協力することができた。			

○その他

推進体制

事業名	実施内容	参加人数	評価
45. 学校開放管理指導員会議	○期日 4月 16 日 (総合運動公園) ・令和 2 年度反省及び 3 年度事業計画について	書面開催	B
46. 市町村生涯スポーツ担当者会議	○期日 4月 27 日 (岩手県水産会館) ・令和 3 年度事業計画について	担当者 2名	B
47. 一戸町スポーツ推進委員会議	○期日 ①4月 28 日 (町民文化センター) ・令和 3 年度事業計画について ②3月 5 日 (町民文化センター) ・令和 3 年度事業報告について	スポーツ推進委員 12名 スポーツ推進委員 9名	B
48. 二戸地区スポーツ推進委員協議会総会	○期日 5月一日 ・令和 2 年度事業報告、決算について ・令和 3 年度事業計画、予算について	書面開催	B
49. 岩手県スポーツ推進委員協議会総会	○期日 5月一日 ・令和 2 年度事業報告、決算について ・令和 3 年度事業計画、予算について	書面開催	B
50. 体育協会、スポーツ少年団各種大会監督者会議等諸会議	○期日 5月一日 ・一戸町体育協会令和 3 年度定期総会 ○期日 6月 25 日 (クラブハウス会議室) ・一戸町スポーツ少年団令和 3 年度定期総会	書面開催 スポ少会員 8名	B

成果と課題 ○：成果、●：課題

○依然として新型コロナウィルス感染症の拡大防止のため書面開催とするケースがあったものの、少しづつ集合式の総会が増え、今年度の計画概要の把握と確認が出来た。

公民館事業実施状況

【中央・一戸地区公民館】

第1章 生涯学習社会の構築

第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備

成人教育

事業名	実施状況	参加人数	評価
1. いちのへ町民セミナー	<p>【身近なライフコース】</p> <p>○期日及び内容</p> <p>① 7月 14日 「身近な生活を通じて地球温暖化を学ぶ」 岩手県地域温暖化防止活動推進員 高橋功 氏</p> <p>② 10月 14日 現地研修：「北緯40度から義経北行伝説を辿る」 行き先：普代村 アンモ浦展望台他</p> <p>③ 11月 6日 「コロナ禍における子ども孝行のあり方」 富士大学 経営法学科 教授 関上哲 氏</p> <p>④ 11月 19日 「これでアナタも収納美人」 収納整理アドバイザー 金田玲子 氏</p> <p>⑤ 1月 14日 「SUDOKU入門」 一戸町生涯学習課 佐藤孝則</p>	受講生 ① 17名 ② 11名 ③ 14名 ④ 18名 ⑤ 15名	C
2. 各種教室の開催	<p>①ハッピーウォーク2021</p> <p>○期日 10月 16日 一戸駅～御所野縄文公園～一戸駅</p> <p>○内容 駅から公園までの間をウォーキング、小学生によるガイド説明、博物館内の見学</p> <p>②一戸町魅力再発見ツアー</p> <p>○期日 11月 26日 旧朴館家住宅～奥中山高原～産直 奥中山高原～御所野縄文公園</p> <p>○内容 御所野縄文公園を初め町内の魅力を再発見してもらうため町内の文化財・飲食店・産直を巡るツアー</p>	① 37名 ② 5名	C
3. 成人式典	<p>○期日 1月 9日</p> <p>○内容 式典のみ開催。※例年の8月開催を延期</p>	成人者 60名 ※対象 128名	B
4. テニス教室	<p>○内容 硬式テニス教室、例年5～6回実施</p> <p>※ 指導時の感染対策が困難であることから、講師を務める一戸町硬式テニス協会と協議のうえ中止とした。</p>	【中止】	—
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
○ 町民セミナーでは、コロナウイルスの影響により延期した講座もあったが、延期後に予定していた内容を実施できた。 学習内容については、生活に身近な地球温暖化や収納整理を題材として取上げることで、内容に親近感をもって学習してもらうことができた。			
○ 御所野遺跡の世界遺産登録されたことに伴い、ハッピーウォークの開催や各地区公民館と連携し御所野縄文公園を含むツアーハイ、町内の魅力を再発見してもらうことができた。			
● そよかぜ学級では、各町内会・自治公民館でも集会を控えている状況であることから、利用申請は大幅に減っている。今後は、地域活動再開の一助となること等を周知のうえ、利用を呼びかけたい。			

その他

事業名	実施状況	参加人数	評価
6. 一戸町文化祭	○内容 各種作品展示、舞台発表 ※ 県内での感染者数の増加により実行委員との協議のうえ今年度は中止とした。	【中止】	—
7. 一戸地区新年交賀会	○期日 1月4日 町コミュニティセンター ○内容 地区民参加のもと親睦交流を図る。	63名	B
8. 旧正月を祝う会	○期日 2月6日 町民文化センター ○内容 中国文化圏の方々にとって、旧正月を盛大に祝う習慣のあることから、町内在住の外国人の方々と一緒にお祝いをし、交流を図る。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止	【中止】	—
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
<ul style="list-style-type: none"> ● 文化祭及び旧正月を祝う会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止とした。感染症対策をとりながら開催できるよう検討する。 			

第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成

事業名	実施状況	参加人数	評価
9. そよかぜ学級	○期日 年間 ○内容 約10人以上の参加が見込める団体の活動に対して、講師への謝礼金を援助する。	4月～3月まで 8件	C
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 町民セミナーでは、コロナウイルスの影響により延期した講座もあったが、延期後に予定していた内容を実施できた。 学習内容については、生活に身近な地球温暖化や収納整理を題材として取上げることで、内容に親近感をもって学習してもらうことができた。 ○ 御所野遺跡の世界遺産登録されたことに伴い、ハッピーウォークの開催や各地区公民館と連携し御所野縄文公園を含むツアーワーク、町内の魅力を再発見してもらうことができた。 ● そよかぜ学級では、各町内会・自治公民館でも集会を控えている状況であることから、利用申請は大幅に減っている。今後は、地域活動再開の一助となること等を周知のうえ、利用を呼びかけたい。 			

第3章 青少年の健全育成

第2節 子ども行事の活性化

青少年教育

事業名	実施状況	参加人数	評価
5. 子ども映画会	○期日 4月～2月 計11回 ○内容 いちのへじょうもんの里こども園の園児を対象に、映画会を実施。	延べ533名	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども映画会では、時期にあわせた内容のものや、倫理・道徳に関する内容のものを上映することにより、視聴覚教材を通した情操教育が図られた。 			

○その他

公民館活動推進体制

事業名	実施状況	参加人数	評価
10. 自治公民館長会議	○期日 5月7日付 一教生第51号 通知	【中止】	—
11. 文化センター定期利用社会教育関係団体代表者会議	○期日 3月下旬 町民文化センター ○内容 各団体の育成推進、活動方針や事業計画を協議	【中止】	—
12. 二戸地区公民館職員等研修会	○期日 7月29日 ○内容 令和2年度優良公民館表彰を受賞した八幡平市の寺田公民館を見学	担当者1名	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
● 自治公民館長会議及び文化センター定期利用社会教育関係団体代表者会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止とした。			

【鳥海地区公民館】

第1章 生涯学習社会の構築

第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備

成人教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. いちのへ町民 セミナー 「ワクワク体験 コース	○期日 7月～11月 計4回(現地研修1回) ○内容 ① 7月12日(月) ・「匠に学ぶ 木工細工」 ・講師:山井 勇 氏 ② 9月14日(火) ・「まちの施設を知る」 ・講師:NPO スポーツウェルネス ③ 10月19日(火) ・「豆乳手打ちうどんづくり体験」現地研修 ・講師:八幡平市 ふうせつ花 ④ 11月29日(月) ・「すし職人に教わる 卷き寿司のコツ」 ・講師:すし重 千葉 寛一 氏	① 11名 ② 12名 ③ 15名 ④ 15名 受講申込:20名 参加延数:53名	B
2. 創作活動	① 陶芸教室 10月12日(火)、11月9日(火) ② パッチワーク教室 (毎月1～2回) ③ ミニ門松作り教室 12月22日(水)	① 延べ26名 ② 17回 延べ145名 ③ 10名	B
3. 作品発表展示 会	○期日 一戸町文化祭 ○内容 各教室で作成した作品の展示。	【中止】	—
成果と課題 (○: 成果, ●: 課題)			
○ 各事業、各教室等では、立派な作品が多く見られた。町文化祭が中止なったが、陶芸教室の作品については11月29日(月)～12月9日(木)まで翔遊館を活用して鑑賞してもらうことができた。			

高齢者教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
5. 各種スポーツ大会	○期日 ① 親善ゲートボール大会 ② グラウンド・ゴルフ大会 10月13日(水) ③ 郵便局長杯ゲートボール大会 ④ 公民館長杯カローリング大会 11月22日(月) ○内容 会員の健康づくりと交流・親睦を図る。	① 【中止】 ② 24名 ③ 【中止】 ④ 35名	C
6. 親睦旅行	○期日 ○内容 「 」でお風呂と会食をし、会員の交流・親睦を図る。	【中止】	—

7. 短歌・俳句	○期日 3月 文集第37集発刊 ○内容 地区民と愛好会員に作品を募集し、1冊の文集として纏める。		B
8. 高齢者と児童とのふれあい活動	○期日 9月11日（土）（草取り） 今年度も老人クラブのみ ○内容 鳥海小学校の全校児童と高齢者が一緒になって、学校の中庭や校舎周辺の草取りを実施。	老人クラブ 20名	B
9. 楽しく学ぼう 西川日長寿大学校	○期日 12月～2月（計3回） 場所：来田保養センター 宮田温泉集会所 ○内容 ① 12月 8日（水）【開講式】 ・「体を動かし、元気はつらつ」 ・講師：スポーツウェルネス職員 ② 1月 19日（水） ・「落語を楽しもう」 ・講師：手次手次亭 鮎六 氏 ③ 2月 18日（火）→ 3月 16日（水）に延期後中止 ・「健康に暮らす食生活」 ・講師：町健康子ども課 中渡 礼 氏	① 24名 ② 46名 ③ 【中止】	C
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<p>○ スポーツ大会では、昨年度より少ない回数ながらも、交流が活発に図られ「3密」を避けながら、親睦を深めることができた。</p> <p>○ 高齢者の方々と児童とが交流する場がもてなかつた。高齢者一人一人が地域貢献できる活動を今後も小学校や地域の方々と協力して事業を企画し、現在進行している。</p>			

第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成

事業名	実施内容	参加人数	評価
4. 移動公民館及びそよかぜ学級	○期日 年間 ○内容 約10人以上の参加が見込める団体の活動に対し、講師謝礼の援助。	27回 延べ246名	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
<p>○ 各種団体が年間を通じて多種多様な活動を展開しており、中でも婦人会の活動では、エコバック作り教室など環境問題に配慮した活動も見られた。</p>			

第3章 青少年の健全育成

第2節 子ども行事の活性化

青少年教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
10. 習字教室	○期日 毎週月曜日 鳥海地区公民館 ○内容 子ども達の情操を育て、技術の向上。(小学生 10 名)	延べ 340 名	B
11. 環境美化運動	○期日 ① 4月 25 日(日) ・早朝クリーン作戦 ② 年間 ・花だんづくり ○内容 地域の環境美化運動に参加し、子ども会での花壇づくりの推進。	① 200 名 ② 小友地区	B
12. 青少年地域活動 (チャレンジ土曜日)	○期日 8月～3月 ○内容 ①8月 5日(木) 6日(金)「ピザ作り教室」 ②1月 6日(木) 7日(金)「ボール運動教室」	①延べ 26 名 ②延べ 28 名	B
成果と課題 (○: 成果, ●: 課題)			
○ 青少年地域活動では、児童数の減少に伴い子供会活動が縮小されていることから、地域で子どもを育てようということで、世代間の心のふれあいが可能な限りの範囲で行われてきている。 ○ 長年続けてきた習字教室は、硬筆毛筆とも元気に活動している。			

その他

公民館活動の推進体制

事業名	実施内容	参加人数	評価
13. 公民館運営協力者会議	○期日 ①5月 11 日(火) ○内容 公民館運営全般について、活動の計画、反省等について意見交換。	18 名	B
14. 三者合同健全育成会議	○期日 7月 8 日(木) ○内容 各地区子ども会育成会長、小・中学校長、公民館の三者が会し、連携と理解を深める。	7 名	B
15. 各種団体長会議	○期日 11月 18 日(木) ○内容 そよかぜ学級実施団体への事業説明	13 名	B
16. 公民館だよりの発行	○期日 年間 一戸町の広報発刊日にあわせて月 1 回発刊 ○内容 公民館の活動計画や実施内容等のお知らせや地域や学校の行事などを地域住民全戸に配布。	368 世帯に 通算発行数 384 号	B

17. ちらし等の情報提供	○期日 通年 ○内容 公民館事業や各種団体での募集やチラシづくりの協力など公民館だより以外に必要に応じて作成し地域の方々へ情報提供する。		B
成果と課題 (○: 成果, ●: 課題)			
<p>○ 「公民館だより」では、地域の活動がわかりやすいように、写真を多く用い、より多くの活動や情報を地区民の方々に提供できた。短歌・俳句・川柳、地域の行事・小学校の事業なども継続して紹介でき、充実した広報紙となり、地域の方々も楽しみにしているようである。</p> <p>○ 公民館の事業に、理解と協力を地区民の方々からいただき、活動が円滑に行われてきている。開催できた各種会議においても、建設的な意見交換が行われ、今後の公民館事業のよい方向づけとなっている。</p> <p>● 自治公民館との連携を進め、可能な限り活動を工夫し、主体的な活動の支援と協力を図っていきたい。</p>			

○その他

事 業 名	実 施 内 容	参加人数	評価
18. 鳥海地区スポーツ振興会及び各種スポーツ大会への支援(協賛)	○期日 年 間 ○内容 ① 地区ペタンク・リーグ戦 7月7日(水)、7月28日(水) ② 鳥海地区総合スポーツ大会 ・ビーチボールバレー ・ソフトボール ③ 鳥海地区町民体育大会	①延べ72名 ②【中止】 ③【中止】	C
19. 鳥海地区振興会及び各種団体への支援・協力	○期日 年 間 ○内容 ①地区振興会活動への支援と協力 ・早朝クリーン作戦、桜の植樹場所等の刈り払い 標語コンクール、鳥海夏祭り、新年交賀会、大志を抱く会、交通安全のぼり旗設置等 ②各種諸団体活動の活性化と支援。		B
20. 鳥海ボランティア高森会への支援・協力	○期日 年 間 ○内容 高森高原まつりへの協力、鳥海地区振興会と協力しての刈り払い、研修旅行、介護予防教室の送迎等		B
21. 高森高原まつり実行委員会への支援・協力	○期日 6月6日(日) ○内容 高森高原まつり実行委員会への支援・協力	【中止】	—
22. 介護予防拠点施設「翔遊館」への支援・協力	○期日 年 間 ○内容 翔遊館の利用促進と介護予防拠点施設運営協議会への協力。介護予防教室開催時の送迎等		B
23. 鳥海地区新年交賀会	○期日 1月3日(月) ○内容 地域住民が一堂に会し、新年を祝い相互の親睦を図る。	【中止】	—

24. 大志を抱く会	○期日 2月 5日(土) ○内容 一戸中学校の鳥海地区出身の2年生を対象に、将来の夢や希望を宣誓していただく。また、茶話会を通じて地域とのつながりを図る。(今年度対象生徒：5名)	【中止】 2月 28日(月) 記念品贈呈式	—
25. 一戸町を再発見するバスツアー	○期日 12月 3日(金) ○内容 御所野縄文遺跡が世界遺産登録なったことを契機にして、御所野縄文遺跡を見学をはじめとした一戸町の文化財、自然物などを再発見する、再認識するきっかけとするバスツアーを企画する。	9名	B
成果と課題 (○:成果, ●:課題)			
○ 少子・高齢化が顕著に進んではいるが、体育・文化、地域の活動に対して積極的に、公民館が可能な限りの支援・協力の体制をとり、少人数だからこそできる活動を模索、実施にこぎつけたものもある。 ○ 高森高原まつりは、今後開催の在り方を模索しながら、関係団体等と協議しながら来年度にむけたい。			

【小鳥谷地区公民館】

第1章 生涯学習社会の構築

第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備

成人教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. いちのへ町民セミナー	<p>○期日・内容 元気な地域・人づくりコース（小鳥谷地区公民館） ①8月5日（木） 演題：「いつまでもいきいき元気で生活しよう」 講師：小鳥谷診療所 院長 小野寺 沙織 氏 ②10月29日（金） • 現地研修：遠野市（宮守茅場他） • 講演 演題：「地元のかやぶきは地元のかやで」 講師：遠野かやぶき保存協会 会長 照井 文雄 氏 ③11月22日（月） 演題：「郷土芸能を愛する気持ちをいつまでも！」 講師：岩手県民俗芸能団体協議会 副会長 藤沢 清美 氏 ④12月2日（木） 演題：「いろいろな人生」 講師：仁昌寺 住職 佐々木 綱晋 氏 いちのへ町民セミナー共通課題（小鳥谷地区公民館会場） ⑤7月9日（金） 演題：「一戸病院の在宅医療のあり方について」 講師：一戸病院職員</p>	受講生 45名 ①29名 ②21名 ③26名 ④40名 コース延べ参加人数 116名 ⑤9名	A
2. ヨーガ教室	○期日 1月～3月 計10回 ○場所 小鳥谷地区公民館 ○内容 ヨーガ教室	延べ受講生数 67名	B
3. 料理教室	○期日 ①12月5日（日） そば打ち教室 *中止 ②1月16日（日） ピザ作り教室 ③3月12日（土） お菓子教室 *中止 ○場所 小鳥谷地区公民館	①【中止】 ②10名 ③【中止】	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ いちのへ町民セミナー「元気な地域・人づくりコース」は、昨年度と比較して小鳥谷地区公民館管内の受講生が13名から23名に大幅に増加し、受講生登録数（35名→45名）、延べ参加人数（83名→116名）とも昨年度を上回った。			

高齢者教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
4. 小鳥谷はつらつあっぷ教室（共催）	○期日 4月～3月（毎月第2・4木曜日、12～3月は毎週木曜日） ○内容 介護予防を目的とした教室 （主催：一戸町地域包括支援センター）	27回 延べ292名	B
成果と課題（○：成果、●：課題）			
○ 参加者の健康増進及び介護予防に繋がっている。			

第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成

事業名	実施内容	参加人数	評価
5. 移動公民館	○内容 地域に出向いての健康づくりのための軽い運動・料理教室、交通安全や防犯の講話等	【中止】	—
6. そよかぜ学級 (講師謝礼の補助制度)	○期日 ①主催 高屋敷町内会 期日 12月29日 場所 高屋敷集会所 内容 そば打ち教室 ②主催 姉帶第1行政区ボランティアの会 場所 侍村公民館 内容 健康講話「冬場の健康管理について」 講師 一戸町健康子ども課 保健師 新毛淳子氏	①10名 ②12名	B
7. 自主講座	○期日・内容 ①華道教室 毎月第2・4木曜日 ②大正琴教室(琴修会) 毎月第2・4月曜日 ③小鳥谷さわやかクラブ(健康づくり) 毎月第2・4水曜日 ④駒木婦人の会(健康づくり) 毎週金曜日 ⑤こづや太極拳同好会 毎週月曜日	①延べ 27名 ②延べ 43名 ③延べ 196名 ④延べ 248名 ⑤延べ 297名	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
○ 自主的学習として年間を通した活動がされている。			

第3章 青少年の健全育成

第2節 子ども行事の活性化

青少年教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
8. 幼児映画教室	○期日 5~2月(月1回) ○場所 小鳥谷保育所 ○内容 小鳥谷保育所の児童に映画鑑賞の機会を提供	延べ児童数 118名	B
9. 書道教室	○期日 9~11月毎月第1・3金曜日 12月~3月毎週金曜日 ○場所 小鳥谷地区公民館	延べ受講生数 205名	B
10. 青少年地域活動事業	○期日 7月30日(金) ○場所 十和田八幡平国立公園 ○内容 八幡平ハイキング	児童 16名	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			

- 幼児映画教室を通じて、幼児期の情操教育を図ることができた。
- 書道教室を9月から第1・3金曜日に実施していたが、受講生から要望があり12月から毎週金曜日に実施しており、会員数が昨年度より増加した。
- 青少年地域活動事業の八幡平ハイキングでは、学童・子ども教室と協力して、小鳥谷小学校に通う子どもたちの相互交流および八幡平の魅力とその価値について学ぶことができた。

その他

公民館活動推進体制

事業名	実施内容	参加人数	評価
11. 小鳥谷地区公民館運営協力者会議	○期日 5月13日 ○場所 小鳥谷地区公民館 ○内容 公民館事業及び管理・運営全般について	定期利用団体・地域内の各種団体代表者 12名	B
12. 地域団体、定期利用団との打ち合わせ	○期日 随時 ○内容 地域の各種団体、定期利用団体と打ち合わせ、事業の円滑化を図った。		B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
○ 運営協力者会議は、多くの団体から公民館事業全般に建設的な意見が寄せられ事業推進に寄与している。 ○ 日頃から各種団体と連絡調整を密にし、活動状況の確認、連携を図った。			

○その他

事業名	実施内容	参加人数	評価
13. 小鳥谷地区公民館まつり	○期日 11月6~7日 *中止 ○場所 小鳥谷地区公民館 ○内容 作品展示・舞台発表等 主催：実行委員会・小鳥谷地域振興会・公民館	【中止】	—
14. 小鳥谷地区スポーツ振興会事業への協力	①役員会 期日 5月6日（木） 場所 小鳥谷地区公民館 ②総会 期日 5月16日（日） 場所 小鳥谷地区公民館 ③小鳥谷地区ソフトボール交流大会 期日 6月27日 *中止 場所 旧小鳥谷中学校グラウンド ④第64回小鳥谷地区町民体育大会 期日 10月10日（日） *中止 場所 旧小鳥谷中学校グランド ⑤ビーチバレー大会 期日 2月27日（日） *中止 場所 小鳥谷地区公民館	①実施協力 ②実施協力 ③【中止】 ④【中止】 ⑤【中止】	B
15. 小鳥谷地域振興会事業への協力	①総会 期日 5月9日 場所 小鳥谷地区公民館 ②クリーンアップ作戦 期日 4月11日 ③藤島のフジまつり 期日 5月30日 *中止 ④小鳥谷まつり 期日 9月18~19日 *中止 ⑤藤島のフジ等選定・園内清掃など 期日 5月9日・6月6日・7月4日・11月21日 ⑥地区内公道等の除雪作業 地域振興会会員による通学路の除雪（随時）	①実施協力 ②実施協力 ③【中止】 ④【中止】 ⑤実施協力 ⑥実施協力	B

16. 小鳥地区新年交 賀会	○期日 1月9日 *中止 ○場所 小鳥谷地区公民館	【中止】	-
17. 小鳥谷地域づく りワークショップ	<p>①ワークショップ 期日 6月～（毎月第3木曜日・計5回） *8月・9月開催延期 場所 小鳥谷地区公民館 進行 いわてNPOフォーラム21 内容 地域の様々な課題解決と将来像について語り合うワ ークショップ</p> <p>②小鳥の谷の雪あかり 期日 1月22日 場所 小鳥谷地域 内容 雪あかり設置</p>	<p>①6月 11名 7月 12名 10月 9名 11月 9名 12月 9名</p> <p>②ワークショップ メンバー約30人他 小鳥谷地域住民</p>	B
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 小鳥谷地域振興会・小鳥谷スポーツ振興会の総会・役員会・事業に出席し、連携を図っている。 ○ 小鳥谷地域づくりワークショップは3年目となり、自発的・建設的な意見が寄せられた。また、ワークショ ップメンバーが中心となり1月にイベント（小鳥の谷の雪あかり）を実施した。 			

【奥中山地区公民館】

第1章 生涯学習社会の構築

第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備

成人教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. いちのへ町民セミナー 「いきいきコース」	<p>○期日 7月～12月 計5回</p> <p>○内容 ①7月19日 (奥中山地区公民館) •「パラリンピック間近！パラリンピック競技『ボッチャ』を体験」 •講師：ふれあいランド岩手 職員</p> <p>②10月22日 (奥中山地区公民館) •「国土の変貌を考える～みんなでやった拡大造林」 •講師：富士大学 教授 遠藤元治 氏</p> <p>③11月16日 【現地研修】 •「久慈市情報交流センター『YOMUNOSU (ヨムノス)』見学」 •講師：施設職員</p> <p>④11月25日 (奥中山地区公民館) •「認知症予防運動『コグニサイズ』で脳と体の活性化」 •講師：岩手県予防医学協会 職員</p> <p>⑤1月20日 (奥中山地区公民館) •「九戸村『オブチキ (キングオブチキン)』の活動を知ろう」 •講師：九戸村 IJU 戦略室 佐藤康輔 氏</p>	10人 12人 10人 15人 14人	B
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 町民セミナーは、受講者に興味を持っていもらえるようテーマの選定に努力している。本年度は、広い会場を使用するなど、感染対策に注意して実施した。 ○ コロナの感染状況により日程の変更を余儀なくされた回もあったが、予定どおり全5回を開催することができた。 ● 受講者の固定化、減少傾向が見られるため、開催時期や内容、周知方法等を工夫して実施したい。 			

高齢者教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
2. 親善ゲートボーラリーグ戦	<p>○期日 5月～9月 (開拓記念公苑、公民館ホール)</p> <p>○内容 全8回のリーグ戦を行い、参加者の技術向上と親睦・交流を図った。</p>	6チーム	B

3. ピュアクアガーデン杯ゲートボール大会	○期日 10月11日 (ピュアクアガーデン) ○内容 地元チームと近隣市町村の招待チームによる親善大会を開催し、競技を通じて相互の技術向上と親睦・交流を図った。	4チーム	B
4. 第4回奥中山郵便局長杯ゲートボール大会	○期日 未定 (奥中山地区公民館ホール) ○内容 郵便局と共に開催。競技を通して参加者相互の親睦、交流を図る。 ※ 新型コロナ感染防止のため中止とした。	【中止】	—
5. オパール大学校	○期日 11月～3月 ○内容 JA年金友の会と共に開催し、講話や軽体操など各回テーマを決めて開催。 ※ 新型コロナ感染防止のため中止とした。	【中止】	—
6. お達者サークル	○期日 毎週水曜日 9時～13時 (お達者かあ～ん) ○内容 高齢者及び施設利用者を対象に、軽運動、ニューススポーツなどを実施。	延べ 43回 914人	B
7. はつらつ！あっぷ教室	○期日 6月～11月 毎月第4水曜日 11月～3月 毎週水曜日 13時30分～15時 (奥中山地区公民館) ○内容 健康運動、ストレッチ、脳トレ運動など 町地域包括支援センターが主催し公民館などが後援して実施。	延べ 23回 120人	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
○ ゲートボール大会は、中止としたり一部のチームが欠場する大会もあったが、奥中山地域のほか近隣市町村のチームが参加し、相互の技術向上と親睦・交流を図った。 ○ オパール大学校は、共催団体の方針もあり、中止となった。 ○ お達者サークルは、自宅に引きこもりがちになりやすい高齢者の外出のきっかけや体力維持、生きがいづくりの一助になっている。			

第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成

事業名	実施内容	参加人数	評価
8. 定期教室	○期日 通年 ○内容 ①袋物教室（月1回） ②ちぎり絵教室（月1～2回） ③大正琴（月2回）	①延べ 8回 68人 ②延べ 9回 68人 ③延べ 15回 30人	B
9. そよかぜ学級	○期日 通年 ○内容 概ね10人以上の参加が見込める教室や講座などを開催する場合、町が講師への謝礼金を支給する。	延べ 14回 134人	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
○ そよかぜ学級は、地区民が自主的に教室を企画し、技術の向上や伝承、参加者相互の交流が図られている。 ● 定期教室、そよかぜ学級とも、実施回数、参加人数が新型コロナ以前の水準に戻らなかった。			

第3章 青少年の健全育成

第2節 子ども行事の活性化

青少年教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
10. 幼児映画教室	○期日 4月～2月 毎月各1回 ○内容 幼児を対象に、映画会を実施している。 ・奥中山保育所、摺糠児童館	延べ16回 210人	B
11. 青少年地域活動	○小学生の各種体験支援 期日 8月6日 奥中山地区公民館 内容 工作体験・なぎなた体験	小学生40人	B
12. ドッジボール交流大会	○期日 11月23日 町民文化センター ○内容 奥中山地区から5チーム参加	低学年2チーム 低学年3チーム	B
13. 地区子連雪あそび	○期日 1月12日 お達者かあ～ん ○内容 夢あかり事業に参加し、雪灯ろうづくりを行う。	30人	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 青少年地域活動では、夏休み期間を利用し小学生のいろいろな体験のためのサポートを行った。なぎなた体験では、奥中山なぎなた教室や奥中なぎなた部が協力し、交流も図られた。 ○ 地区子連雪遊びは、夢あかりで灯す雪灯ろうづくりを老人クラブの会員と一緒に行った。世代間の交流を図りながら地域のイベントへの参加を通して郷土愛の醸成を図った。 			

その他

事業名	実施内容	参加人数	評価
16. ロビー展示会	①期日 4月～3月のうち随時 内容 ちぎり絵教室の作品展示 ②期日 7月15日～8月10日 ほか全4回 内容 中山の園つじ 作品展 ③期日 12月13日～12月24日 内容 三愛学舎 手芸展 ④期日 2月7日～2月28日 内容 三愛学舎 卒業展	集計なし	B
17. 健康づくりの日	○期日 5月～9月（毎週木曜日） ○内容 毎週早朝にラジオ体操を行うことで、地域住民の健康づくりの一助となった	延べ20回 250人	B
18. 文化祭	○期日 10月9～10日（奥中山地区公民館） ○内容 地区民の芸術文化活動の成果を発表、展示し、広く地区民に鑑賞の機会を提供する。 ※ 新型コロナ感染防止のため中止とした。	【中止】	—

19. 新年交賀会	○期日 1月8日 (奥中山地区公民館) ○内容 地域住民が一堂に会し、新年を祝いながら親睦と交流を深める。 ※ 新型コロナ感染防止のため中止とした。	【中止】	—
20. 夢あかり事業	○期日 1月14~16日 夢あかり事業 ○内容 駅前通りを会場に、雪と灯りをテーマにイベントを開催。住民総参加で一つの目標に取り組み、地域の活性化を図る。	集計なし	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
<ul style="list-style-type: none"> ○ ロビー展は、地域の福祉施設の作品展示など、回数、期間とも増加している。 ○ 多目的ホールを使用した軽スポーツの利用が多くなっており、年間延べ利用者は2,000人超となっている。 ○ 夢あかり事業は、例年行っていた馬そり運行を取りやめるなど一部規模を縮小して開催したが、駅前などへの雪あかり点灯や花火、神楽の披露などを行い、参加者に奥中山の冬を楽しんでいただいた。 			

○その他

公民館活動の推進体制

事 業 名	実 施 内 容	参加人数	評価
14. 公民館運営協力者会議	○期日 年度当初 奥中山地区公民館 ○内容 地域内の各関係団体の代表者に集まっていただき、公民館の活動などについて協議する。 ※ 新型コロナ感染防止のため開催しなかった。	—	—
15. 地域団体、公民館利用団体等代表会議	○期日 不定期 ○内容 地域の各種団体や公民館利用団体の代表者会議を開催し、公民館活動の推進等について連絡調整し、事業の円滑化を図る。	—	—
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナの影響により年度当初の運営協力者会議は開けなかったが、日頃から各関係団体との連絡を密にし、活動状況の把握や協力体制の構築に努めている。 			

芸術文化・コミュニティセンター関係事業実施状況

第6章 歴史文化の継承と創造

第5節 芸術・文化活動団体の育成及び指導者の確保

自主事業

事 業 名	実 施 内 容	参加人数	評価
1. 各種展示会	① テーマ展「アジサイ」 6/9～6/30 ② NORIO・写真機によるスケッチ〈瞬間の美〉 7/27～8/22 ③ 夫婦の写真展 9/16～9/26 ④ 世界遺産登録記念展示 「縄文の風景」 10/9～11/3 ⑤ 杉沢空良 切り絵作品展 11/6～11/23 ⑥ 一戸町文化協会書道部作品展 11/26～12/5 ⑦ 田村巳代治「おらほの四季」写真展 12/9～12/26 ⑧ 新年かきぞめ大会金賞作品展示会 1/8～1/23 ⑨ 一戸高校美術部・書道部合同展 1/29～2/20 ⑩ 一戸町文化協会写真部会作品展 3/2～3/21	-	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
●各種団体等と連携を図りながら、利用者の増加に結びつけられるような展示を継続実施する。			

第6節 芸術・文化施設の利用促進及び鑑賞・発表機会の拡充

自主事業

事 業 名	実 施 内 容	参加人数	評価
2. 利用促進事業	①こいのぼりアート ○期日 令和3年4月17日（土）～5月9日（日） ○内容 来館者（幼児・児童）が和紙で作った立体のこいのぼりへ思い思いに色付けをしていく。作品をそのまま動きをつけながらロビーへ展示。 ②おえかきひろば ○期日 令和3年4月29日（木）～5月9日（日） ○内容 ロビーの窓ガラスに自由に絵を描いてもらう。こいのぼりの塗り絵を楽しんでもらう。 ③夏休み企画「トレジャーハンター」 ○期日 令和3年7月31日、8月1日 ○内容 ホール利用が減少するタイミングで、ホールの音響、照明を活用した「宝さがし」を実施。夏休み企画として親子で楽しめるイベントとした。 ④一戸まつりDVD上映会 ○期日 令和3年8月20日（金）～8月29日（日） ○内容 コミュニティセンターの事務室側入り口前に一戸まつりのDVDを上映。	① 来館者 ② 来館者 ③ 延べ144名 ④ 来館者	B

<p>⑤公共ホール音楽活性化支援事業 「早稲田桜子バイオリンコンサート」</p> <p>○期日 アウトリーチ 10月28日～10月29日 町内小学校 コンサート 10月30日（土）</p> <p>○内容 町内小学校でバイオリン演奏アウトリーチ実施後、最終日にホールでコンサートを開催。</p> <p>⑥わわわのステージ</p> <p>○期日 令和3年6月27日、12月19日</p> <p>○内容 町民参加型のステージ発表。民謡、舞踊、健康体操、童謡唱歌、カラオケ等。</p> <p>⑦絵画教室</p> <p>○期日 毎月第2・4日曜日</p> <p>○内容 一戸町文化協会美術部部員を中心とし、絵画に親しむ会を開催。</p> <p>⑧カラオケ俱楽部</p> <p>○期日 每月第2水曜日、第4水曜日</p> <p>○内容 カラオケに親しむ会を自由参加で開催。</p> <p>⑨童謡・唱歌を楽しむ会</p> <p>○期日 7月～3月に7回開催（4月～6月3回中止）</p> <p>○内容 童謡・唱歌を通じて音楽に親しむ会を開催し、参加者同士の交流を図る。毎回参加者の希望をとりながら、ピアノ伴奏に合わせて約2時間童謡、唱歌を楽しんでいる。</p> <p>⑩縄文の里音楽会</p> <p>○期日 11月3日（水）</p> <p>○内容 縄文の里保育園、一戸小学校金管バンド、一戸中学校吹奏楽部（一戸高校吹奏楽部）によるライブ。</p> <p>⑪岩手芸術祭</p> <p>1. 移動舞台公演</p> <p>○期日 12月4日（土）</p> <p>○内容 岩手県新舞踊協会より藤舞会、満月会を招き新舞踊公演を開催。</p> <p>⑫アートボード企画</p> <p>ロビーの一部壁面を利用し、地域参加を施行した、季節感や年中行事等を演出する企画を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月 年賀状、格言おみくじ ・2月 はぎれコラージュ『Heart』 <p><制作協力 一戸高校美術部・書道部></p> <p><制作素材提供 一戸ファッショセンターセンター、日本ソーアイング></p> <ul style="list-style-type: none"> ・3・4月 さくらの木 	<p>⑤ 163名 (ホールコンサート)</p> <p>⑥ 延べ188名</p> <p>⑦ 延べ124名 (4-2月)</p> <p>⑧ 延べ190名 (4-2月)</p> <p>⑨ 延べ77名 (4-11月)</p> <p>⑩ 250名</p> <p>⑪ 104名</p> <p>⑫ 来館者</p>
---	--

成果と課題 （○：成果、●：課題）

- コロナ対策を考慮した新規事業「こいのぼりアート」「トレジャーハンター」「アートボード企画」を実施し、様々なイベントが中止となる中で、子供達やファミリーに喜ばれる事業を実施することができた。また、施設の賑わいへも繋がった。
- 公共ホール音楽活性化支援事業では、助成金を活用しながら、地域資源を活かしたコンサートを実施した。アンケートにおいても、回収率及び満足度が高い回答が得られた。
- 縄文の里音楽会では、地元の子供達の発表の場として、多くの町民に喜ばれる音楽会となった。
- 移動舞台公演の有料開催が少しずつ浸透している。以前に比べ有料公演を開催しやすい環境になってきている。
- 新規事業「アートボード企画」では、高校生とのコラボや町内企業から協力を得るなど、来館者とのコミュニケーションツールとしてだけではなく、地域と繋がりをもつきっかけとすることができた。
- コロナ感染状況に留意しながら、可能な限り利用者のニーズに添えるよう関係機関との連携を密にしていく。
- 新型コロナウイルスの近隣市町村での感染状況などによるイベントの中止など、人と直接会う機会が減っているという方が少なくない。少しお話をするだけでも気が晴れると言ってくださった方もいる。今まで以上に社会的包摂の機能が施設に求められている。

○その他

推進体制

事 業 名	実 施 内 容	参加人数	評価
3. 「いわて文化芸術活動支援事業」及び「いわて文化施設利用促進事業」説明会並びに意見交換会	<p>○期日 令和3年4月16日（金）</p> <p>○内容 二戸地区合同庁舎 いわて文化支援事業等について助成の具体的な内容、受給状況等の情報共有。</p>	1名	B
4. 令和3年度第1回県北広域振興圏文化芸術活動支援ネットワーク会議	<p>○期日 第1回会議 6月30日（水）</p> <p>○内容 二戸地区合同庁舎 新型コロナウイルス感染防止対策や事業実施状況報告。感染防止対策ガイドライン情報の共有。</p>	1名	B

成果と課題 （○：成果、●：課題）

- 他館の事業視察については、情報交換、他館スタッフとの交流の面で大変有意義であった。また、その後の事業実施においても他館（青森県平川市文化ホール）からの細やかなサポートが得られた。
- Zoomによるオンライン研修では移動のためのお金と時間のコストを削減できた。
- 時間の都合で参加しづらかった研修会が、オンラインで参加できることにより有益な情報をより多く手に入れることができた。
- 法改正関係のオンライン研修が以前より多く開催され、組織の運営基盤に必要な情報を得ることができた。

一戸町立図書館事業実施状況

第1章 生涯学習社会の構築

第3節 図書館の充実資料整備関係

事 業 名	実 施 内 容	参加人数	評価
1. 資料等の収集・保存	<p>①図書資料の収集・保存 ○内容 地域課題解決、また教養の向上、レクリエーション等のため、図書資料の収集と保存を図っている。</p> <p>②逐次刊行物の収集・保存 ○内容 時事的な情報収集のため、新聞・雑誌・フリーペーパー等の収集と保存を図っている。</p> <p>③郷土資料・行政資料の収集・保存 ○内容 町立図書館としての任務に欠くことのできない、町の情報収集機関として、積極的に郷土・行政資料及び地図の収集と保存を図っている。</p> <p>④視聴覚資料の収集・保存 ○内容 情報基地としての図書館として、地域関連資料、教養の向上、およびレクリエーション等のため、視聴覚資料の収集を図っている。</p>	-	B
2. 資料提供サービス	<p>①貸出・閲覧等の資料提供 情報提供機関として、利用者の求める資料の提供により、利用者の課題の解決や教養の向上、レクリエーション活動への支援を図った。</p> <p>②予約・リクエストサービス 利用者が要求する情報を確実に提供するため、予約・リクエストを受け、新規購入・相互貸借等により利用者に資料を提供した。</p> <p>③図書館間資料相互貸借サービス 図書館ネットワークを通じ、当館に所蔵しない資料について、他館より借受けて利用者に提供するほか、当館から他館への貸出も行った。</p> <p>④レファレンスサービス 利用者から各種問合せに応じ、資料の提供を通じて問題解決への協力を図った。</p> <p>⑤障がい者サービス 町民を対象に、読書活動及び図書館の利用に困難がある方への支援（個人宅配など）を行った。また大活字本等の収集・提供を行った。</p> <p>⑥出前貸出サービス「そよかぜ号ミニ」 町内 16 サービスポイントを毎月 2 日間巡回し、介護や保育施設などに本の配達を行った。</p> <p>⑦団体貸出 町内の団体利用者に（学校、施設等）に図書を貸出した。</p>	宅配利用 2名 4月～3月 月2日巡回 随時	B

3. リサイクル市 (町立図書館除籍資料等リサイクル事業)	今年度実施なし	-	-
4. 蔵書点検	○期日 6月7日～11日 ○内容 資料の適正管理のため蔵書の一斉点検を行った。	-	B
5. 町内図書蔵書情報共有化事業	○内容 町立図書館、公民館図書室、御所野縄文博物館及び小中学校図書館の蔵書情報の共有化し、図書資料の有効活用を図っている。	-	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
○蔵書点検の実施により、適正な資料管理を図ることが出来た。 ○医療、介護・福祉、教育・子育て支援等の最新資料を適宜収集することで、利用へのニーズに応えた。 ●郷土資料の整理・登録を進め、資料管理を適正に行いたい。 ●資料更新を進め、除籍資料のリサイクル事業を次年度以降実施したい。			

利用促進関係

事 業 名	実 施 内 容	参加人数	評価
6. 連携事業	①地区公民館との連携 公民館との連携を図り、資料の入れ替えや図書室の環境整備を行った。 ②読書グループとの連携 町内の読書グループと連携を図り、資料や小道具の貸与、各種研修会・補助金等の情報提供を行った ③学校図書館との連携 学校図書館運営についての相談を受け、児童・生徒の読書活動・学習活動への支援を行った。 • 図書館環境整備 各校に毎月1回出向き掲示物、展示、システム指導、図書ボランティア講習等を行った。 • 職場体験・施設見学・調べ学習受入	-	B
7. 出前図書館	町内外の教育施設等に出向き各種事業を行った。 ①読み聞かせ 1件、ブックトーク 6件 ②図書講座等の研修講師 1件	-	B
8. パソコンコーナー開放サービス、Free Wi-Fi	○内容 情報収集ツールとしてのインターネットや、職業訓練等での練習としてパソコンの開放している。また一戸町Free Wi-Fiの設置により、利用の便を図った。	-	B
9. 図書館広報	○内容 各種媒体を通じた広報活動で利用促進を図った。 ①一戸町広報誌「いちのへ」 ②図書館広報紙「ぶっくんレター」 ③新聞各社、カシオペア連邦イベント情報への情報提供 ④ホームページ、SNS ⑤コミュニティセンターロビーディスプレイ ⑥ラジオ出演（カシオペアFM、IBCラジオ）	-	B

10. ブックスタート事業	<p>①ブックスタート</p> <p>○期日 毎月第1水曜日 総合保健福祉センター</p> <p>○内容 幼児期から親子で読書に親しむ環境づくりの形成を目的に、4カ月健診時に職員が出向き、絵本2冊を贈り、その場で読み聞かせを行う。</p> <p>感染対策のためR3年度も郵送・来館受渡を実施。</p> <p>②ブックスタートプラス</p> <p>○期日 隔月第1水曜日 総合保健福祉センター</p> <p>○内容 ブックスタートのフォロー事業として、親子で読書に親しむ環境づくりの形成を目的に、3歳児健診時に図書館職員が出向き、絵本1冊を贈った。また、ブックスタート事業のアンケートをとり、事業効果を検討した。</p>	38組 46組	B
11. 第43回一戸町読書に関する作文コンクール	<p>○期日 募集 8月1日～9月30日 表彰式 令和3年12月10日</p> <p>○内容 読書を通じての体験作文及び感想文を広く募集し、入賞作品文集『そよかぜ』を発行。読書活動の推進を図った。</p>	応募点数 59点	B
12. 地域おこし事業	<p>①木でつくる風車工作教室</p> <p>○期日 7月18日 一戸町コミュニティセンター</p> <p>○内容 山井木工代表を講師に木工教室を開催した。</p> <p>②戦争と暮らし回顧展（ロビー展）</p> <p>○期日 8月7日～19日 一戸町コミュニティセンター</p> <p>○内容 戦争体験記のパネルを展示した。</p> <p>③いちのへの食</p> <p>○期日 10月9日 一戸町コミュニティセンター</p> <p>○内容 いちのへ日和、おむすび屋代表を講師に郷土食や地産地消について学んだ。</p> <p>④わらべうた+工作教室</p> <p>○期日 11月28日 一戸町コミュニティセンター</p> <p>○内容 岩手県立児童館子どもの森の職員を講師にわらべうたと工作教室を開催した。一戸高等学校生徒と連携を図った。</p> <p>⑤ミズキ団子づくり</p> <p>○期日 1月10日 一戸町コミュニティセンター</p> <p>○内容 一戸の伝統行事を知るため、ミズキ団子づくりを実施した。</p> <p>⑥柴田外男の切り絵教室</p> <p>○期日 2月27日 一戸町コミュニティセンター</p> <p>○内容 グラフィックデザイナー柴田外男氏を講師に切り絵教室を開催した。</p> <p>⑦まいまいいつむりの手芸教室【中止】</p> <p>○期日 3月27日 一戸町コミュニティセンター</p> <p>○内容 刺繍作家・まいまいいつむり氏を講師に手芸教室を開催予定だったが感染拡大のため中止。</p> <p>⑧りぶしるP.O.Pコンテスト【地域コンテスト】</p> <p>○期日 募集 7月1日～8月19日</p> <p>○内容 P.O.P作品を募集し読書活動の推進を図った。入選者は全国コンテストへ推薦した。</p>	<p>① 16名 (付添含21名)</p> <p>② -</p> <p>③ 20名 (付添含24名)</p> <p>④ 23名 (付添含37名)</p> <p>⑤ 25名</p> <p>⑥ 15名 (付添含16名)</p> <p>⑦ 中止</p> <p>⑧ 応募点数 23点 全国入選 20点</p>	A

13. サイエンス講座	<p>①第 15 回親子 de サイエンス図書館 ～望遠鏡で遊ぼう！～ 一戸町コミュニティセンター</p> <p>○期日 7月 24 日</p> <p>○内容 観光天文台台長を講師に星座の講話や望遠鏡づくりを行った。</p> <p>②第 16 回親子 de サイエンス図書館 【中止】</p> <p>○期日 3月 21 日</p> <p>○内容 田中館愛橋記念館職員を講師にサイエンスショーを開催予定だったが感染拡大のため中止。</p>	<p>① 20 名 (付添含 36名)</p> <p>②中止</p>	B
14. 第 3 回子ども司書講座	<p>○期日 8月 12 日 一戸町コミュニティセンター</p> <p>○内容 小学 3~6 年生を対象に、読書活動のリーダーとして活躍できる児童の育成を図った。</p>	8 名	B
15. 夏休み自由研究応援隊	<p>○期日 7/22~8/22 隨時受付 図書館内</p> <p>○内容 夏休み期間中に、自由研究の支援（調べ方、まとめ方等）を行った。また「図書館で調べる学習コンクール」入賞作品の複製展示を行った。</p>	-	B
16. 映画会	<p>①としょかん映画会 一戸町コミュニティセンター</p> <p>○期日 毎月第 2 土曜日</p> <p>○内容 映画を通じて豊かな情緒・感性を育むことを目的に、幼児から小学生向けの映画会を行った。</p> <p>②くらやみシアター 一戸町コミュニティセンター</p> <p>○期日 8月 8 日</p> <p>○内容 夏休みに「こわいはなし」をテーマに、絵本等の読み聞かせと、映画会を行った。</p> <p>③冬休み特別☆としょかん映画会</p> <p>○期日 12月 25 日</p> <p>○内容 冬休みに小学生向けの映画会を実施予定。</p> <p>④春休みおはなしシアター 【中止】</p> <p>○期日 3月 20 日</p> <p>○内容 春休みに、幼児から小学生向けの映画とおはなし会を実施予定だったが感染拡大のため中止。</p> <p>⑤リーヴルシネマ 一戸町コミュニティセンター</p> <p>○期日 7月 11 日、11月 14 日、2月 13 日（予定）</p> <p>○内容 一般向けの映画会を行った。</p>	<p>① 延 24 名 (4・5・8・9・2・3月中止)</p> <p>② 35 名</p> <p>③ 10 名</p> <p>④ 中止</p> <p>⑤ 延 19 名 (5・9月中止 2月延期 3月中止)</p>	B
17. おはなし会	<p>①とことこおはなし会</p> <p>○期日 毎月第 3 金曜日 地域子育て支援センター のびのび</p> <p>○内容 0~3 才児を対象に、絵本や紙芝居の読み聞かせと手遊びを実施した。</p> <p>②ぴかぴかおはなし会 【中止】</p> <p>○期日 隔月第 1 水曜日 総合保健福祉センター</p> <p>○内容 2歳 6カ月児の歯科健診時に、絵本や紙芝居の読み聞かせを行う。</p>	<p>① 延 68 名 (8・9 月 中止)</p> <p>② 【中止】</p>	B

18. 読書週間行事	<p>①こども図書館まつり ○期日 4月23日～5月12日 図書館内 ○内容 こどもの読書週間に合わせ、プレゼント企画（児童のみ）や映画会、展示を実施した。</p> <p>②読書スタンプラリー ○期日 10月1日～12月27日 図書館内 ○内容 読書週間に合わせ、図書館と読書に親しむことを目的にスタンプラリーを開催。ポイントを集めて記念品をプレゼントした。</p> <p>③ぬいぐるみおとまり会 ○期日 11月6日 一戸町コミュニティセンター ぬいぐるみのお迎えは11月7日 ○内容 おはなし会とぬいぐるみのおとまり会を実施。翌日迎えに来た児童へミニアルバムを手渡し、ぬいぐるみが読んでいた絵本を紹介した。</p> <p>④なぞ解きイベント「ひやっか王からの挑戦状」 ○期日 2月11日～13日 図書館内 ○内容 岩手の読書週間に合わせ、『ポプラディア百科事典（第3版）』を使用したクイズを解き（ポプラ社協力）、調べ方を体得するイベントを開催した。</p>	<p>①のべ 122名 ② 194名 ③ 10名 (付添含 28名) ④のべ 56名</p>	A
19. 地域連携	<p>①「オレンジカフェさくら」での図書配本 (オレンジカフェさくらの会主催) ○期日 毎月第3土曜日一戸町コミュニティセンター ○内容 認知症カフェ参加者へ向け、関連図書の紹介及びブックトークを行った。貸出も可能とし、図書館利用促進に繋げた。</p> <p>②「一戸町多世代交流カフェまるっと」での図書配本 (一戸町社会福祉協議会主催) ○期日 每月第3土曜日 町内各地区を巡回 (3・4月は調整のため実施なし) ○内容 認知症カフェ参加者へ向け、関連図書の紹介や読み聞かせ等を行った。貸出も可能とし、図書館利用促進に繋げた。</p> <p>③プログラミング教室（小～高校生対象）での図書配本 (まちづくり課主催) ○期日 8月、12月 一戸町コミュニティセンター他 ○内容 会場内に関連図書を展示した。</p> <p>④一戸町在宅医療推進会議での図書配本 (福祉課主催) ○期日 11月27日 一戸町コミュニティセンター ○内容 会場内に関連図書を展示した。</p> <p>⑤御所野遺跡展 (一戸ユネスコ協会主催関連イベント) ○期日 2月16日～3月21日 図書館内 ○内容 世界遺産登録を祝して関連資料等を展示了。</p> <p>⑥一戸町地域包括ケアシステム検討委員会での図書配本 (一戸町社会福祉協議会主催)</p>	<p>① - (4・5・9月中止)</p> <p>② - (9月中止)</p> <p>③ -</p> <p>④ -</p> <p>⑤ -</p> <p>⑥ -</p>	B

	<p>○期日 3月25日 一戸町コミュニティセンター</p> <p>○内容 会場内に関連図書を展示した。</p>		
20. 各種企画展示	<p>①Library&Community (一般書企画展示) ○期日 常設 ○内容 一般を対象に、社会問題や時事や生涯学習に役立つテーマを設定し、資料の展示貸出を行った。</p> <p>②おしごとサポート (一般書企画展示) ○期日 常設 ○内容 ビジネス・産業支援に関連した資料の展示・貸出及び、就職支援情報や逐次刊行物を収集、掲示した。</p> <p>③文学の森 (一般書文学企画展示) ○期日 常設 ○内容 文学賞受賞作の他、テーマに沿った資料の展示・貸出を行った。</p> <p>④ティーンズ・ラボ (中高生向け企画展示) ○期日 常設 ○内容 中高生を対象に、各期間、テーマに関連した資料の展示・貸出を行った。</p> <p>⑤I t's ニュース速報展示 ○期日 常設 (毎日変更) ○内容 日々の社会問題を紹介するとともに、それに関連する資料の展示・貸出を行った。</p> <p>⑥HOT TOPIC 短期テーマ展示 ○期日 常設 (随時) ○内容 社会問題を紹介するとともに、それに関連する資料の展示・貸出を行った。</p> <p>⑦ぶっくん研究室 (児童書企画展示) ○期日 常設 ○内容 児童を対象に、暮らしに身近なテーマを設定し、資料の展示・貸出を行った。</p> <p>⑧ちいさな本だな (絵本展示) ○期日 常設 ○内容 絵本を中心に資料を展示・貸出した。</p> <p>⑨児童展示 ○期日 常設 ○内容 小学生を対象に児童文学や科学読み物を展示・貸出した。</p> <p>⑩児童季節展示 ○期日 不定期 ○内容 行事の絵本や児童文学等を展示・貸出した。</p> <p>⑪この本よんだ? (良書展示) ○期日 常設 (通年) ○内容 児童向けの良書を複数用意し、展示・貸出した。</p> <p>⑫原作 d e 先読み (話題本展示) ○期日 常設 (随時) ○内容 映画やドラマの原作本や、関連本の展示・貸出を行った。</p> <p>⑬書評展示 ○期日 常設 (随時)</p>	<p>※R3年度のみ</p> <p>富士通主催の「テーマ展示実証実験」に参加</p> <p>新規事業 「P O P コンテスト」や、各種展示に工夫を凝らし、SNSで効果的に発信するなどして利用促進を図った。</p>	B

	<p>○内容 新聞書評欄の記事とともに、資料を展示・貸出した。</p> <p>⑭特別展示</p> <p>○期日 不定期</p> <p>○内容 利用者からの需要が見込まれる図書や県立図書館巡回展示などを貸出した。</p> <p>⑮郷土の先人</p> <p>○期日 常設（通年）</p> <p>○内容 三浦哲郎、舟越保武の資料を展示・貸出した。</p> <p>⑯御所野遺跡</p> <p>○期日 常設（通年）</p> <p>○内容 御所野遺跡、北海道・北東北の縄文遺跡群に関する資料の展示・貸出及び、パンフレット等を収集し提供した。</p> <p>⑰いちのへぐり</p> <p>○期日 常設（通年）</p> <p>○内容 世界遺産に関する本を展示・貸出した。</p> <p>⑱いわ100&いわ100きっず</p> <p>○期日 常設（通年）</p> <p>○内容 県教育委員会で発行したおすすめ図書リストに掲載の本を集め、展示・貸出した。</p>	
--	---	--

成果と課題 (○ : 成果、● : 課題)

- 各種地域おこし事業では新たな繋がりを発掘し、一戸町の魅力を発信した事業ができた。
- 外部で行う地域連携事業（認知症カフェ等）が、運営の周知や図書館の利用促進に繋がった。
- 読書週間イベント（「なぞ解きイベント「ひやつか王からの挑戦状」など）を実施し、読書推進に繋げた。
- 学校図書館連携事業では、小学校の学校司書配属もあり学習支援に力を入れた図書館づくり進められている。今後も学校教育課と連携協力を図り事業を行いたい。
- 時間短縮や利用制限により利用が減少した。利用者ニーズ、行政施策を勘案しながら図書館運営を行いたい。
- 障がい者サービスの一つである来館困難な利用者向けの宅配サービスの周知をさらに強化する。
- 展示実証実験を通じて、展示業務の方向性や広報業務について分析することが出来た。今後も広報活動を強化し、図書館サービスや展示事業、WEBサービスについての周知を図る。
- 公民館図書室資料の更新や環境整備を行いたい。

○その他

推進体制

事 業 名	実 施 内 容	参加人数	評価
21. 二戸地区社会教育部会別会議	<p>○期日 5月21日、2月25日 二戸地区合同庁舎</p> <p>○内容 二戸管内の公共図書館の情報交流を行った。</p>	各1名	B
22. 一戸町学校司書・図書館業務担当者等研修会	<p>○期日 6月4日 一戸南小、12月9日 鳴海小</p> <p>○内容 学校司書・図書館業務担当者と情報交換を行った。</p>	各4名	B

23. 管内子どもの読書活動推進連絡会議	○期日 5月 25日 洋野町立大野図書館 ○内容 子どもの読書活動の振興について学んだ。	1名	B
24. 図書館専門研修会	①読書ボランティア研修会（オンライン） ○期日 6月 15日 ○内容 読み聞かせの知識や技能を学んだ。 ②図書館等中堅職員研修会 ○期日 7月 16日 岩手県立図書館 ○内容 障がい者サービスについて研修した。 ③図書館職員等専門研修（オンライン） ○期日 9月 16日 ○内容 レファレンス協同データベースについて学んだ。 ④図書館等初任職員研修会（オンライン） ○期日 10月 7日 ○内容 著作権やレファレンスについて研修した。 ⑤図書館地区別（北日本）研修（オンライン） ○期日 10月 20日～22日（3日間） ○内容 図書館運営について研修した。 ⑥スマセイおはなしひろば（オンライン） ○期日 10月 22日 ○内容 読み聞かせについて知識や技能を学んだ。 ⑦全国公共図書館研究集会（オンライン） ○期日 11月 25日～12月 9日配信 ○内容 図書館運営に関する研修を視聴した。 ⑧国際子ども図書館児童文学連続講座（オンライン） ○期日 11月 1日～1月 11日配信 ○内容 ヤングアダルトサービスに関する研修を視聴する。 ⑨岩手県公共・大学・専門図書館等連絡協議会 ○期日 2月 25日 岩手県立図書館 ○内容 関係機関との連携協力、情報共有を図る。	① 1名 ② 1名 ③ 1名 ④ 1名 ⑤ 1名 ⑥ 1名 ⑦ 3名 ⑧ 1名 ⑨ 1名	B
25. 業務関連セミナー・研修会	①富士通Webセミナー（オンライン） ○期日 7月 14日、9月 17日 ○内容 広報の重要性を先進図書館の事例から学んだ。 ②一戸町見守り声かけ訓練（地域包括支援センター主催） ○期日 10月 2日 一戸町コミュニティセンタ他 ○内容 高齢者（認知症）への声かけ訓練に参加した。 ③図書館総合展（オンライン） ○期日 11月中配信 ○内容 図書館業務に関するフォーラムを視聴した。 ④全国図書館大会山梨大会（オンライン） ○期日 11月 25日～12月 9日配信 ○内容 図書館業務に関するフォーラムを視聴した。	① 4名 ② 1名 ③ 3名 ④ 3名	B
26. 先進地視察研修	二戸地区図書館職員等研修会 ○期日 10月 25日 こども本の森（遠野市）ほか ○内容 こども本の森を視察した。また二戸管内図書館職員との交流を図った。	3名	B

27. 館内研修	<p>○期日 每月月末整理日</p> <p>○内容 職員が講師をつとめ、図書館サービスやレンタルサービスなどをテーマに研修を行い、講師側・受講側ともに研鑽を図る。</p>	8名	B
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
<p>○専門研修がオンライン開催になり参加する頻度が多くなったことや、富士通Webセミナーや図書館総合展で当館事例を発表したことで自己研鑽に繋がった。</p> <p>○館内研修では、職員が講師を務めることで業務や町の歴史や文化財について深く知る機会となつた。</p> <p>●オンライン研修の時間を業務中に設定し計画的に進めることはできたが、他業務との兼ね合いを図り研修計画を図りたい。</p>			

文化財関係事業実施状況

第6章 歴史文化の継承と創造

第1節 文化財の調査・保護

事業名	実施内容	参加人数等	評価
1. 文化財指定候補物件の調査	○内容 町内に所在する文化財のうち優れたものについて調査を行い、必要に応じて指定し、保護を図る。 ①火行ミズバショウ		B
2. 町内遺跡発掘調査事業	○内容 町内遺跡の開発に伴う発掘調査	試掘調査 8件 工事立会 4件	B
3. 指定文化財等の保護	○内容 指定文化財の維持管理 ①町指定有形文化財「木造阿弥陀三尊立像」くん蒸作業（県立博物館） ②町内文化財パトロール	①9月 ②随時	B
4. 文化財調査専門委員会	○期日・場所 ①10/22 旧小鳥谷中学校 ②3/29 町民文化センター ○内容 町文化財指定に係る諮問および文化財の調査、保護、活用について協議	①委員 6名 職員 5名 ②委員 6名 職員 5名	B
5. 二戸地区文化財調査委員会等連絡協議会（共）	○期日・場所 ①6/14 理事会 二戸地区合同庁舎 ②7月 総会 書面決議 ③研修会 中止 ○内容 二戸管内の文化財調査委員の情報交換と専門的な知識・技術の取得・向上を図る	①理事 2名 職員 1名 ②— ③—	B
6. 神楽公開	○期日 6月 中止	—	—
7. 権現様パレード	○期日 8月 中止	—	—
8. 第43回一戸町郷土芸能祭	○期日・場所 11/21 コミュニティセンター ○内容 郷土芸能を継承するため発表の機会を設け、地域住民に理解を深めてもらうとともに、伝承者の技術向上を図る	121名	B
9. 一戸町郷土芸能保存協議会への活動支援	○期日 ①5/28、8/21、10/20 役員会 ②総会 中止 ○内容 郷土芸能団体の交流・親睦を図り、各種事業を実施し、郷土芸能の活性化と後継者育成に努める	①職員 1名	B
10. 無形民俗文化財保存事業	○内容 各地域に伝わる無形民俗文化財を後世に継承するため、各団体に補助金を交付	7団体	B
成果と課題 (○ : 成果、● : 課題)			
○無形民俗文化財保持団体は活動が停滞していたが、11月から2月の間は発表の場を設けられ各団体による伝承活動を行うことができた。			
●調査はおおむね予定どおり実施できたが、活用事業は実施できなかった。			

第2節 重要文化財旧朴館家住宅の保存修理とまちづくり

事業名	実施内容	参加人数等	評価
1. 旧朴館家住宅保存修理事業	○日時 ①12/2 第1回委員会 ②3/17 第2回委員会 ○内容 旧朴館家住宅の保存修理に向けて委員会運営及び保存修理事業計画の検討を行う。	①委員 8名 ②委員 6名	B
2. 朴館家住宅保存会への活動支援	○日時 6/11 総会 ○内容 住宅の保存活動を行う団体の活動を支援する	会員 11名	B
成果と課題 (○ : 成果、● : 課題)			
○委員会を2回開催し、保存修理事業計画をまとめることができた。			
●第2回委員会開催日に新幹線が不通のため専門家2名が欠席となり、充分な議論が行えなかった。次年度以降継続して工事内容を精査したい。			

第3節 文化財愛護の機運向上

事業名	実施内容	参加人数等	評価
1. 文化財普及活動	○内容 さまざまな広報手段を活用し文化財を周知する ①文化財マップの作成 ②広報いちらへ掲載 ③ホームページ更新	①3月作成 ②計12回 ③随時	B
2. 地域住民との連携	○内容 地域住民やボランティア団体と連携し、文化財の保護活動を行う。 ①国指定史跡奥州街道 ②国指定根反大珪化木 ③国指定藤島のフジ ④国指定旧朴館家住宅 ⑤町指定姉帯城跡	①越田橋町内会、八幡町町内会、小性堂町内会、高屋敷町内会 ②根反地区婦人会 ③藤島のフジを守る会 ④朴館家住宅保存会、駒木町内会 ⑤姉帯地区住民	B
3. 奥州街道ウォーク等への協力	○内容 各団体の実施する奥州街道ウォーク等への協力など	IGR 中止 10/27 沼宮内公民館	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
○3年間継続して広報いちらへに文化財紹介記事を掲載し、3月号をもって指定文化財をすべて紹介することができた。			

その他

1. 文化財行政推進体制

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. 二戸地区文化財担当者会議(共)	○期日・場所 11/18 二戸市歴史民俗資料館 ○内容 文化財行政の具体的推進について協議し、事業の効果的推進を図る	職員2名	B
2. 岩手県史跡整備市町村協議会	○期日・場所 ①総会 書面決議 ②11/9 研修会 奥州市江刺総合支所 ○内容 史跡整備の研究と行政的課題について協議	①ー ②職員1名	B
3. 全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会	○期日・場所 総会 書面決議 ○内容 史跡整備の研究と行政的課題について協議		B
4. 全国史跡整備市町村協議会	○期日・場所 ①総会 書面決議 ②大会 WEB開催 ○内容 史跡整備の研究と行政的課題について協議	①ー ②職員1名	B
成果と課題 (○: 成果、●: 課題)			
○オンラインを併用して概ね参加することができた。			

世界遺産登録推進室事業実施状況

第5章 世界遺産を活用したまちづくりの推進

第1節 世界遺産登録に向けた取組

事業名	実施内容	参加人数等	評価
1. 縄文遺跡群登録推進会議（4道県）	○期日 ①9月6日 ②10月29日 ③3月25日 ○内容 北海道・北東北の4道県と構成資産を持つ14市町の担当課長で構成される会議	①職員3名 ②職員3名 ③職員1名 (オンライン開催)	B
2. 縄文遺跡群登録推進担当者会議（4道県）	○期日 必要に応じて開催 ○内容 推進会議のほか、さらに具体的な協議や検討が必要な場合に開催		B
3. 岩手県世界遺産保存活用推進協議会（県）	○期日 年1回 ○内容 「平泉文化遺産」及び岩手県内の縄文遺跡群（御所野遺跡）の保存活用推進のため協議	書面開催	B
4. 岩手県世界遺産保存活用推進協議会縄文保存活用検討部会（県）	○期日 ①年1回 ○内容 岩手県内の縄文遺跡群（御所野遺跡）の保存活用推進に向けた協議	書面開催	B
5. 御所野遺跡世界遺産登録推進協議会	○期日 総会 書面決議 役員会 ①11月8日、②12月3日、③3月8日 ○内容 世界遺産登録に向けた個人・団体で構成される登録推進協議会への支援と連携事業の推進	①役員12名 ②役員11名 ③役員11名	B
6. 国内フォーラム（4道県）	○期日 ①1月30日 東京都 ②3月13日 盛岡市 ○内容 縄文遺跡群の学術的価値の浸透を図るフォーラム	①中止 ②150名	B
7. 4道県共通ロゴマーク活用事業（4道県）	○期日 年間 ○内容 共通ロゴマークを活用したPRグッズなどの活用		B
8. 4道県共通ホームページの活用事業（4道県）	○期日 年間 ○内容 縄文遺跡群を国内外へ発信しりための共通ホームページの活用		B
9. 世界遺産登録推進企画展事業	○期日 ①4月10日～6月27日 横浜市歴史博物館 ②5月18日～6月27日 千葉市生涯学習センター ○内容 御所野遺跡を紹介する展示会の開催	①7,328名 ②約3,100名	B
10. 御所野遺跡の調査・研究	○期日 年間 ○内容 既往の調査成果をもとに、遺物の再整理、調査や分析を行った。		B
11. 縄文時代の植生など実験・研究	○期日 年間 ○内容 縄文時代の植生復元や植生利用について東京都立大学や岡山理科大学などと共同で研究を実施。		B
12. 調査成果発表会	○期日 2月25日 ○内容 御所野遺跡や町内の文化財の調査研究について対面開催を中止し、冊子を作成した	1,000部	—
13. 世界遺産委員会オンラインビューイング	○期日 7月27日 ○内容 第44回世界遺産委員会による審議状況LIVE配信		B
14. 世界遺産登録記念事業	○期日 7月28日 一戸町体育館 ○内容 世界遺産登録記念行事を開催し、関係者一同で登録を祝った。	180名	A
	○期日 12月11日 一戸町コミュニティセンター ○内容 世界遺産登録記念式典・祝賀会を開催	150名	

	○期日 7月29日 ○内容 世界遺産登録記念誌発行、全世帯へ配布	6,000部	
	○期日 8月31日 ○内容 世界遺産登録記念ポスターを作成、各所に掲示	1,000部	
	○期日 1月20日 ○内容 世界遺産登録記念御所野遺跡総合パンフレットを作成	1,000部	

成果と課題 (○: 成果、●: 課題)

○令和3年7月27日、第44回世界遺産委員会（オンライン開催）において、御所野遺跡を含む「北海道・北等東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録された。
 ○登録記念事業の実施が各種メディアに取り上げられ、広く御所野遺跡への関心を高めることができた。
 ○大学との連携・協力により、縄文時代の植物利用に関する実施調査研究活動を継続することができた。

第2節 未来へ伝えていくための取組

事業名	実施内容	参加人数等	評価
1. 御所野遺跡保存整備事業	○期日 年間 ○内容 ①縄文時代の植生復元整備 ②史跡整備（排水路修理工事、園路舗装修理工事） ③第1駐車場舗装修繕工事、歩行者用階段設置工事		B
2. 縄文里山づくり事業	○期日 年間 ○内容 御所野遺跡とその周辺における縄文景観復元と縄文体験を主とした縄文里山事業の推進		B
3. ボランティア活動支援（指定管理者）	○期日 年間 ○内容 遺跡ガイドや清掃活動など、御所野遺跡で活動するボランティアの支援を行った。予定していた研修会は中止となった。		B
4. クリーンデー（指定管理者）	○期日 ①4月24日 ②11月6日 ○内容 御所野遺跡の関係団体のほか婦人会、老人クラブ、地元の公民館、一般町民等が参加し公園の清掃活動を通じて文化財愛護思想普及を図る	①150名 ②231名	B

成果と課題 (○: 成果、●: 課題)

- 遺跡東側の丘陵地（縄文の森）や遺跡中央の漆林において環境整備を進めることができた。
 ○史跡及び周辺地の雨水排水対策として、排水路や園路舗装の修理工事を進めることができた。
 ○遺跡ガイドや公園内の清掃などを行い、世界遺産登録後に増加した来場者への対応を行うことができた。
 ○クリーンデーでは地域住民などが参加し清掃活動を行うことで、御所野遺跡の保存活用への関心を高めることにもつながった。

第3節 新たな交流の創出

事業名	実施内容	参加人数等	評価
1. 広域連携事業	○期日 年間 ○内容 縄文遺跡群登録推進本部、二戸地域振興センター等と連携してスタンプラリー、パンフレット作成など各種事業を実施した		B
2. 広報宣伝活動	○期日 年間 ○内容 広報いちらのへの情報発信、各種パンフレット作成		B
3. SNS情報発信（指定管理者）	○期日 年間 ○内容 HP、Twitter、Instagramを活用し、情報をリアルタイムに発信		B

成果と課題 (○: 成果、●: 課題)

○首都圏で企画展を開催したことにより、御所野遺跡の価値や世界遺産登録へ向けた地域住民の取り組みの重要性などについて、周知を広げることができた。

第4節 御所野縄文公園の活用

事業名	実施内容	参加人数等	評価
1. てづくりプログ ラム（指定管理者）	○期日 年間 ○内容 組みひも、お守り、土器、土笛、アクセサリー作り等の縄文体験	年間 延べ 1,086 名	B
2. 縄文体感プログ ラム（指定管理者）	○内容 ①「クルミの樹皮でコースターをつくる」5月9日 ②「シナノキまるごと体験」7月4日、8月22日、9月5日 ③「ドキドキ！考古学者体験」7月24日、11月3日 ④「カラムシの繊維でコースターをつくる」8月1日 ⑤「ストールの自然染め～くりかっちゃん～」10月9日、10日 ⑥「縄文の星空を体験しよう」 10月16日 ⑦「葉っぱアートづくり」 10月31日 ⑧「藍染めカレンダーづくり」 11月13日、14日 ⑨「正月飾りをつくる」 12月19日 ⑩「小指組み紐でアクセサリーをつくる」 1月23日 ⑪「冬の縄文公園を歩いてみよう」 2月5日	①3名 ②(7/4) 3名 (8/22,9/5中止) ③中止 (7/24) 3名(11/3) ④4名 ⑤中止 ⑥15名 ⑦中止 ⑧4名 ⑨12名 ⑩1名 ⑪中止	B
3. 御所野縄文 WeeeeKs（共同）	○期間 10月16日～11月7日 御所野縄文公園ほか ○内容 御所野遺跡の魅力をアピールするため、二戸地域振興センター等と連携し、一定の期間に集中してイベントを行った。 ①10月2日 IBCラジオイベント ②10月3日 世界遺産登録記念灯籠点灯 ③10月16日 おいでよ縄文の森 ④10月16日 世界遺産登録記念 ハッピーウォーク 2021 ⑤10月16日 縄文の星空を体験しよう ⑥10月17日 JOMON花火カウントダウン ⑦10月17日 JOMON花火 ⑧10月27日 縄文給食の日 ⑨10月31日 縄文リレーマラソン 2021 ⑩10月31日 浄法寺漆×御所野縄文ツアーブル ⑪11月3日 世界遺産登録記念 縄文の里 音楽会 ⑫11月3日 考古学者体験 ⑬11月6日 秋のクリーンデー（再掲） ⑭11月6日 世界遺産登録記念 郷土芸能演舞 ⑮11月6日、7日 ワークショップ 「～縄文時代と現代をつなぐ漆～」	①96名 ②ー ③0名 ④40名 ⑤15名 ⑥50名 ⑦339名 ⑧742名 ⑨350名 ⑩16名 ⑪250名 ⑫3名 ⑬231名 ⑭231名 ⑮255名	B
4. 御所野縄文キャ ンプスクール	○9月18～19日 ○有識者で構成する委員会においてプログラム内容を検討し、1泊2日の日程で募集したが、中止となった。	ー	ー
5. ミュージアムシ ョップリニューア ル事業	○期日 12～3月 ○内容 ショップ什器の入替、ロゴマークの作成、オリジナルグッズのリパッケージ、商品取扱基準の見直しなどを行った。		A
成果と課題 (○：成果、●：課題)			
○新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした体験もあったが、季節ごとの自然素材を生かした体験企画を開催し、御所野遺跡の魅力や縄文文化に興味を持つきっかけ作りの場となった。			
○ショップリニューアルは各種メディアにも取り上げられ、その後の売り上げ増加に繋がった。			

令和3年度教育に関する事務の管理、執行の状況の点検及び評価報告書に関する意見

一戸町PTA連合会 会長 田中勝也

令和3年度における教育に関する事務の管理及び執行について、先ずは関係者の皆様の尽力に対し深く感謝申し上げます。各分野の点検及び評価について機会をいただきましたので、僭越ながら次のとおり意見申し上げます。

学校教育課関連事業においては、AまたはBの自己評価がなされ、おおむね当初の計画が達成できたものと拝察いたします。中でも、安全・防災に関わる連携強化と実践活動の充実はスクールガードの担い手が減少している中、登下校時の巡回指導を実施し、事件事故の防止に尽力いただき感謝申し上げます。令和4年度中には学校運営協議会がすべての小中学校で立ち上がる予定となっておりますので、今後は地域との連携をさらに密にしてスクールガードの担い手減少に対処して頂きたいと考えます。

また、学力向上の推進においては1人1台相当となるタブレット端末の整備がありましたが、端末教材利用データ等の管理によっては各自の勉強時間や課題の理解力把握に活かせると思いますので、タブレット端末を有効に活用して頂きたいと考えます。

次に、生涯学習課及び世界遺産登録推進室関連事業においてもAまたはBの自己評価がなされ、計画通りの成果があげられた事だと思います。中でも、オリパラ関係ではオリンピック聖火リレーやパラグアイ共和国パラリンピック選手団の事前合宿は、町民にとって貴重な経験となったことだと思います。この経験を国際交流のみならず、御所野縄文遺跡の情報発信やいろいろな事業に活かしていくものと期待いたします。

コロナ禍で活動内容が制限される場面もあるかと思いますが、今後もすべての事業が計画以上の成果をあげられることを祈念いたします。

一戸町体育協会 会長 梅垣昭三

御所野遺跡の世界遺産登録から一年、コロナ渦の中、来客数の増加、我が町にとって大変嬉しい事である。もし、コロナ渦でなければさらに多い来客で嬉しい悲鳴だったかもしれない。今後コロナが終息することを願い、多くの来客がある事を期待したい。

各公民館の事業内容を見れば、ランクB、中止が多く見られる。これらをAにする方法や中止しない方法を考え、各家々から参加してもらう方法を考えたい。一年の四季に渡り、苦労があると思うが四季折々の行事を見いだせば楽しい一年になるのかもしれない。頑張ろう！

次に小中高生の運動について、一言申し上げたい。当町には他にないくらいの運動施設がある。特に、総合運動公園の整備等は他市町村に負けない整備だと思う。もっと使用を高め、子ども達等に喜んで使ってもらい、成績を上げてもらえば幸いである。子ども達には強くなる練習、強くなる指導をし、苦しさの中にも楽しさが残る学生時代の1ページにしてもらいたい。